

新聞切

朝鮮關係

P ●

政治

昭和三年
昭和四年

Y Y

H3(1)

P. 政治

昭和三年
昭和四年

朝鮮勞農總同盟の

巨頭等檢束さる

日

スポーツ研究と見せかけ京

4.24

秘密裡に赤い宣傳

新義州署の警察部補は数日前重大なる使命を帯びて來城、警察部高等、刑事課の應援の下に府内各思想團體或は主義者等の家宅捜査を行つてゐたが、俄然檢束の手は延び朝鮮勞農總同盟中央執行委員李丙儀、同吳相哲および朝鮮青年總同盟朴衡秉の三名を檢束し廿二日午後八時發の特急で歸任したが、警察部補は朝鮮第一次共產黨、高麗革命黨員を檢束して鬼黨の名を賜せた敏廠家で今回の檢束も各方面から重大視されてゐるが、仄聞するにこれだけ這般の第一乃至第三次共產黨とは全然別個の秘密結社で東京に「朝鮮運動社本部」なる如何にも純粹なるスポーツ研究團體の如く見せかけた看板を掲げ、内實は共產主義を奉ずる連中を集めひそかに、共產運動をなしてゐたものであり房殿の端緒はロシアの國際共產黨本部に運動費を請求すべく新義州を通過せんとして逮捕されたもので目下新義州署には十名を留置してゐるが、京城においても前記三名の外四、五名の容疑者があるが何れも檢束の手下ると見て何れへか逐電したあとであり容疑者はなほ各地に散在しおる模様で事件は益々擴大するものと見られてゐる

各道の高等課長に

警視を増員する

5.11日

追加豫算四十餘萬圓で

思想取締に力を注ぐ

特別議會は追加豫算として提出した總督府の思想取締費四十一萬圓の使途は内卅五萬圓が警務局にして残り六萬圓が法務局である警務局側における費途は
 ▲圖書課事務官一名、通譯生二名
 ▲地方廳警視八名、警部五名、出版物取締警部三名、警部補二十名、巡查六十五名、その他四名増員
 ▲巡查講習所に一萬二千圓の増額
 ▲保安課事務官一名、屬二名、雇員囑託若干名増員
 ▲海外派遣員事務官二名、通譯生三名、雇員五名増員

等にして、保安課の擴張は警察機關の蒐集その他地方機關の充實に伴つたもので海外派遣員は主として滿洲に派遣され情報の機關の充實を意味し圖書課の充實は新聞、雜誌、通信等の取締に萬端なきを期するもので地方廳にあつては濱高等課長が現在京畿、平北、慶南等が警視課長であるのを更に道を警視課長とするもので、その他道高等課、警察署の高等課を充實するため警部補、巡查等百余名

を増加し、出版物取締警部は京城以外の地にあつて全幹主要都市に配置し地方における取締を期するものである、
 巡查講習所の充實は主として思想方面の取締に従ふ警務官養成に當てるものである
 法務局側における六萬圓は思想專門檢事五名を増員し京城、平壤、大邱等の主用裁判所に配置しまた刑務所の看守長二名看守若干も増員するものである

止むなく處分

鮮日紙停止で

淺利警務局長語る

既報の通り朝鮮日報は日を以て發行停止處分に附せられ指令は即日京畿道警察部長より代表者に手交したが此の斷乎たる處分を敢行した理由に就き淺利警務局長は語る「朝鮮日報は去る大正十四年九月勞農露國と朝鮮の政治といふ題

下に發行停止處分に附せられたが當時赤化記者を臧首し内容を改めて漸く十月に停止處分解除を受けたものであるが彼が第一二次朝鮮共產黨に連座した記者多數を出したのみならず大會禁止となつた新幹會の幹部が同社の幹部であり不穩言動のあつた地方支會の中心人物はすべて同社支局員であつた従つて新聞の記事論調は常に狂激に失

し大正十五年度五十三回昭和二年度五十五回の差押處分を十數回の戒告を受け本年に入つても五

ず食言的態度を改めず殊に昨春五月從來の不穩記事を描擄して將來を戒告し統治の大方針を否定せんとする從來の態度を改めずんば新聞自體の存在を否認の止むなきを聲明したに係はらず昨年七月の帝王の凋落、十月勞農露國、革命記念、十一月革命十周年の露國本年一月保釋連延の犠牲等々の記事を掲げ暗に革命を禮讃し赤化をせうよう宣傳するが如き、記事を掲げ遂に發行責任者は司法處分に附せられたにも係らず豪も反省する處なく殊に五月八日の濟南事件の壁上觀と題する記事は我國今次の出兵を帝國の侵略的野望であると非難し神人共に許さざる濟南の暴虐は殆ど記事として顧みず故意に國民をして出兵の眞意を誤らしめ

國威を中外に傷けんとするに外ならぬので止むを得ず過去一切を歴史的綜合的にも鑑み最後の反省を促すべく發行停止處分に附した次第であります

合同運動を 禁止さる

朝鮮青年運動の 集會を鐘路署から

朝鮮における青年運動の統一、各分設團體の合同は、何事かを畫策する一部有力者間に早くより提唱されてゐたが、各派間の情實その他に起因する暗闘のため實現されなく見られてゐたが、最近に至り或種の諒解が動機となつて著しく合同の機運を早め、まづその手はじめとしてソウル青年會統與青年會といふ十余年の歴史を有する有力團體をはじめとして京城十七ヶの青年會が全部解散し廿日午後九時より天道教記念館にその幹

部職員等四百名が参集し京城をうつて一丸とする京城青年同盟の創立總會を開催しつゝあつたが鐘路署では綱領行動を不慮と認め廿一日朝斷乎として集會の禁止を命じた

前日は

採める

續開の筈を
禁止さる

二十日府内十七個の青年團體を解

體した幹部會員等四百余名は個人の資格をもつて同夜九時天道教記念館に集會したが、これは朝鮮青年同盟の主旨に基づき新に、府内の各青年團體をうつて一丸とする京城青年同盟をおこさんとする創立總會で、從來の分散的組織およびその運動方法が目的を達成せしむる上に薄弱なるを自覺し、あらゆる情實暗闘を排して統一青年運動を起こさんとする前提であり、府郡、面には同趣旨を奉ずる同盟、或は班の如き細胞團體を置いて全鮮的青年統一運動を起こす計畫で、京城がその鞭を垂れんとした譯である。同夜はまづ各團體の解散宣言を發表した後、元ソウル青年會執行委員朴鳳龍司會の下に開會を宣し、經過報告、行動綱領の發表後議事に入らんとしたが、たま／＼入會遅刻者のことから紛擾起り約二時間をもめ抜いた後、句有耶無耶のうちに午前二時頃散會、廿一日夜引き続き續開を開催するはずであつたが鐘路署に提出した十二項の綱領全部が法律に反し社會の安寧秩序を害するものなるにつき同署では朴鳳龍、魚龜善の幹部を廿一日午前十時召集し集會の禁止を命じた。よつて府内各青年會の解散は實現したが京城青年同盟はいまだ未成立のまゝである

時節がら 非常な緊張

全道警察部長會議

けふの第一日

各道警察部長會議は二十八日午前九時より總督府第一會議室において後利警察局長總裁のもとに開催出席者は

田中京畿、上内忠北、佐伯忠、河野全北、松下全南、美原豊北、伊達豊南、佐々木黄海、石本平南、石田江原、鹿野成南、阿部成北の十二道警察部長（平北は支那馬賊事件のため缺席し警務部長代理出席）△内地側内務省書記官鈴木壽男、警視廳特高課長藤田三、兵庫縣警察部長近藤俊上政信、山口縣警察部長近藤俊介、福岡縣特高課長武政隆の五氏會同出席し總督府より警務局長以下警務局長、事官、關係局長、中村高等法院檢察長その他出席し軍部關係より寺内軍參謀長、日下部憲兵司令官その他出席し山梨總督、池上政務總監も臨席した開會へき山梨總督の訓示を與へ池上政務總監、後利警察局長の訓示を終り正午休憩午後一時半再開後利警察局長の指示事項諮問事項審議があり午後四時第一日終了したが新任總督、總監着任第一回の會同であるかと思想取締支那馬賊事件等時節警察界多事の折衝今次の會同も例年になく緊張味を示してゐた

總監訓示

不肖政務總監の任に膺り茲に初めて各位と會同し親しく所懐を述べの機会を得ましたことは洵に欣快とする所であります顧みますれば本府始政以來各般の施設は著著進捗し以て今日の如き文化の發展を致し治安の維持を見ましたことは畢竟各位が多年奮勵努力せられたる結果に外ならぬことと考へまして、茲にその功績

あります。然しながら近時社會の變遷に伴うて警察事務は益々多岐に互に殊に思想の傾向は愈々複雑を極むることとなりました。この實情に徴しますれば到底現状に是如たるをなさぬものがあるやうであります。各位は宜しくこの情勢を察し、克く部下の教養訓練に努め、時代に適應したる頭敏なる警察官を育成すると共に一面各員の責任觀念を喚起し、各自の所管區内の事項一關しては擧げてその責に任ずるの決心を盡はれ、且上下隣接互に連絡を緊密にし以て警務の向上遂行を圖られたいのであります。申す迄もなく治安の確保は百政の基礎を爲すものであります。殊に發展の道程に在る朝鮮においては最もこの感を深うするのであります。各位は又警察本然の治安維持に任ずるは勿論産業その他各般の施設に對しても克く總督府の援助を加へこれに圓滿なる發達を圖り以て統治全般の實績擧揚に寄與するに努められたいのであります。尙この機会において二三項分つて所懐を述べ各位の厲行を願はしたく思ふのであります。

一 綱紀の振肅

綱紀の振肅に關しましては既に著任の當初訓示する所あり各位亦克く意を茲に用ひられつゝあることと思ふのであります。近時綱紀を紊り甚しきに至つては刑罰に觸れる者を出しましたことは洵に遺憾に堪へない所であります。申す迄もなく規律は國政運用の樞軸であり、一般官公吏の生命であります。就中社會の非違を糾すを以てその職責とする警察官吏は居常最も嚴肅なる規律の下に行動し些の弛緩をも許さぬのであります。若し警察官吏にして綱紀を紊り、社會の儀表たるの自覺を失ふに於いては國家の治安は到底望むことが出来ぬのであります。各位は深く思を茲に致しその職司の重大なるに鑑み、下の監督指導に細心の注意を拂ひ、苟も之の非行失態に對しては寸毫の、なく斷乎たる措置を執り以て綱紀を振肅するや努力せられんことを希望致します。

山東總督の訓示

警察部長會議に於ける

道警察部長の會同に際し茲に觀るの實情に在り殊に國外における不逞輩の如き或は獨立を標榜し或は共產主義を高唱し時に兇暴なる手段に訴へ民心の騷亂を企つる等匪類未だその跡を絶たざるの情況に在り各位は此等の所爲に對し斷乎たる措置、出で非速を糾彈するに於て遺憾なきを期すると共に一般民心の騷擾を誤らしめざるを要す

々秋行はせらるる即位の大禮は實に國家の盛典にして舉國慶祝の誠を致すべき盛饗なり各位はこの際勤務の刷新及能率の増進を圖り以て多岐なる業務の遂行に遺憾なきを期すべし

保健衛生に關する施設は年を逐うて改善せられ診療機關亦普及してありと雖未だ所期におよばざること遠く將來企畫を要すべきもの少しとせず殊に常在傳染病の如き近時禽痘類を極め毎年多數の患者を用し茲に民力の疲弊を招き國家の發展を阻みつゝあるは洵に憂慮に堪へざる所なり各位は一層奮勵傳染病に對する措置を旨め保健衛生に關する諸般施設の改善擴充を圖り以て福利の増進に寄與せられんことを望む

朝鮮議會

請願運動

朝鮮から代表上京し
政府に直接膝詰談判

我等に參政權を與へよと絶叫して合理あるとなし最近火蓋を切つ
起る國民協會一派の朝鮮人參政
獲得運動は年と共に深刻化し毎
會毎に代表を東京へ派し運動を續
けて來たが普選から更に婦選に移
らんとする劃期的時代今尙ほ新附
同胞に參政權を附與せられぬは不
起すと

副島伯の自治論の根本を考察し

同化政策の研究を提唱す (三)

◇……羅馬大帝國の衰頹せし歴史を見よ……◇

草 莽 學 人

京城

3. 6.

不肖は博物學者でもなければ、生理學者でもないから、其の適確なる理由を發見することは出来ないが、それは共通的感情や思想、傳説を異にし、風俗習慣を異にし、遺傳的信仰の連鎖が無くて、別箇に形成せる魂が接觸するからであらうと考へられる。

×

×

佛蘭西の學者故チエソ
ン氏は、統計を立てて曰く、

「佛蘭西には毎百年を三代の割合にて、吾々各個人の血脈中には、少なくとも一千年間に於ける二千萬人の血を留存すべしと云ふ、されば同一の土地同一の郡縣の一切住民は必然的に其の祖先を同一にし、同一の土を以て、塑造せられ、同一の印象を刻して、己れ自らも最終の一環たるに過ぎざるこの長大なる連鎖によりて、絶へず普通主性に歸着せしめらるものなり、

吾人はわが父母の子たると同時に、わが種族の子なり、郷土を以て吾人の第二の母と爲す所のものは、實に感情のみに非ず生理も遺傳も亦然り」
と論じて居る、之は實に同化論者の等閑に付す可からざる哲理であらねばならぬ。

齋藤子は。

「日本内地に於て金さか高さか何さか名乗つて居る家族を尋ねれば、大抵朝鮮から渡來して居る、而して其の人が、何等の相違もなく立派なる、日本人と爲つて、混血兒と云ふ痕跡は少しも認められぬ、蓋し其の容貌、骨格、血脈まで其の源は同一にして、少なくとも頗る同化し易き自然の天賦に由るものたるは疑ひを容れざる所である」

×

×

と云はれしが、古へ以來朝鮮民族の血統は混入して居ることは否認はせんぬが、

我大和民族の中に混入せる僅少の朝鮮人の血統は、國土自然の雄美と秀麗とに醇化され、日本の大民族に訓練されて、二五百年來、或は一千二百年來立派に進化されて、日本民族として其の血統を共通し、種族魂即ち大和魂に醇化せられたる血統を構成して居る。

×

×

大陸半島の朝鮮人も山川風土と其の氣圍氣に因りて立派に一種族の血統を垂れて長生瀾愛して居る。

往年理學博士小藤文次郎氏は、日本人が感激性に富むは、海島中大氣の濃厚に因り、大陸の支那朝鮮人が感激性に乏しきは、大氣の稀薄から來て居ると云つたことを記憶して居る、眞に左様であるかも知れぬ。

然らば日本民族の血統も朝鮮民族の血統は分立二千萬六百年間に於て、其の國土山川の秀麗と、大氣の濃厚と、其の山川の平凡と、大氣の稀薄とに因り、或は

其の民族の精神的鍛錬ミ、
否らざるに因りて、全然
分離したる別箇の血統を垂
れ、其の民族魂を養成した
のである、日本人が世界的
比類なき大和魂の集團的
「力」を有し、地球上の
民族が、今日我大和魂を賞
讃する所のものは、其の純
潔氣血の凝結したるものが
遍傳ミ精練ミ歴史に因て、
進化されたるものにして、
即ち武士道ミなり、任俠道
ミなつたのである。

按ずるに、神代に於ては
同一國の民族であつた内鮮
ハも、數千年の長き歲月の
間に於て、大和魂ミ朝鮮魂
ミは積極ミ消極ミ背進してし
まつたをして日本人ミ朝鮮
ハミは容易に改竊同化し難
ミ民族性を育成した、特に
不正八年の騷擾以來は、民
族魂の背進は激甚である。

此の民族魂の相違、換言
すれば血統の相違が、兩民
族同化難の最大原因である
之を結婚政略に依りて適化

し、同化しやうにしても、
それは當局が同化の理想に
過ぎずして、言ふ可くして
行はれまい、而して其の人
情風俗習慣の異なる點に於
て、現在の如く、結婚して
は離婚し、離合集散は免か
れ能はず、此の方面に内鮮
人男女ミ其の家庭に於て、
其の離婚より來る著しき溝
渠の築かる、こゝは必定で
ある、不肖は今内鮮人の結
婚の悲慘なる一例を擧げる
であらう。

茲に京城に一人の朝鮮人
紳士あり、今其の名を秘す
今を距ること十幾年前、内
地に留學して一人の内華人
を娶つた、爾來數人の兒を
生むミ雖も入籍せず、近年
若き朝鮮夫人を娶り、十數

年同居して數人の兒を擧け
たる内地夫人は之を別居し
て圍ひ物ミした。

其の人は妾ミして遇せら
るるの冷酷に堪へず、其の
内地人夫人は前年數兒を遺
し、一人の乳兒を以て入
水自殺をしてしまつた、其
の遺書に葬式は本宅より發
し呉れよとありたるも、其
の夫君は十數年同棲の夫人
の遺書をも尊重せずして、
之を別居の圍ひ家より葬送
した、其の夫君は人に優れ
し職者である、冷淡水の如
く悲慘言語に絶した行爲で
はないか。

夫人の靈魂今尙其の本邸
に飄蕩せむ、之れ實に風俗
習慣人情の相違ミ、其の懸

情の非交響より来る結果であらう。

又一人の紳士あり、其の名を秘す、其の人は内地の某醫學校出身にして、現に某醫院に奉職せり、其の父君は其の子の卒業をも待たずして死亡した、不肖は父君は慈意であつた、父君の死後學資の出所に窮し、中にして退學せざる可からざる運命に逢着せしを人にて、不肖等慈意の者五六は相談して、毎月六七十圓の留學費を送つて居つた。

期に至り學業を終へて京城に歸りしが、當時一人の内地人夫人を帶同した、蓋し留學中に既に婚を結びしものにして、久しからずし

て一兒を擧げた、然るに其の紳士は久しからずして一朝辭夫人を娶り、内地人夫人を冷遇虐使し、目もあてられぬ悲慘を極めつ、ありき聞く、之れ實に感情の非交響也、風俗習慣飲食座臥趣味の異なる結果であることは勿論である、之も久しからずして悲慘な最後を死んであらう。

之を誹難するは或は無理であるかも知れぬ、鮮人夫人を娶りし内地人にしてもこんな事が行はれて居るであらう、要するに風俗習慣を異にしたる二箇の異なる魂が交婚して、満足なる家庭を築き、満足なる子孫を擧げ得やう道理がない。

史を按ずるに、古へ羅馬帝國の隆盛なるや、彼は幾多の小弱野蠻國を併合して羅馬大帝國を築いた、當時何人が果して羅馬の衰亡を豫想せむや、我大日本帝國今日の隆盛を以て、誰れか果して將來其の老衰を豫想する者があらうか、羅馬が衰亡に至るまでの歴史を調査すれば、それは種々の原因は伏在するであらうが、最も有力なる原因を認めらるゝものは、離婚政策に基因する羅馬最良種の絶滅である、換言すれば純羅馬民族の頹廢である。

羅馬の異民族を征伐するや、彼は實に極端なる同化

政策を採り其の領土内に包
擁したる異民族を遇するこ
ゝ平等にして、其の文化の
程度に民族性の如何に頓着
なく、一齊に市民権を附與
し、異民族との結婚を獎勵
した、宛かも齋藤總督の同
化政略上、内鮮人の結婚を
獎勵されしと同様だ。

羅馬人は、國家の繁榮興
隆に有頂天を爲り羅馬大帝
國主義は四隣を風靡した

我日本帝國の興隆は實に
羅馬帝國興隆の當時に髣髴
たるものがある、而して其
の政治政策も全く羅馬の統
治策と同軌にして、加ふる
に其の離婚政策は、其の理
由とする所符節を合す如し
である。

×

×

然るに羅馬の興隆する半

面に於ては歡樂主義勃起し
て、淫逸奢侈の風盛んなる
に至り、眞の羅馬民族の繁
殖力は著しく減退し且つ基
督教の普及するに従ひ、獨
身主義者の數を増し純羅馬
人の優良なる血液は殆んど
消滅し、異民族の數は益々
増加し、羅馬人の純血は汚
濁せられ、羅馬人の純一性
を喪失してまつた、之れ實
に羅馬帝國の衰亡したる最
大原因である。

×

×

前にも述べし如く、大和
民族と朝鮮民族とは、幾千
年の間に於て、其の血統は
全然分離してしまつて、今
日の日本には大和民族の純
血統が残り、朝鮮では朝鮮
民族の純血統が持續されて

居るのである、されば内鮮
人の民族精神なるものは、
此の分離したる血統に由て
歴然として其の民族魂に相
違を來して居る。

×

×

此の民族的魂なるものが
文化政治の制度變更や、結
婚政略に因て之を改竄し、
其の改竄したる朝鮮人の魂
を囚へ得るであらうか、之
は實に容易の事ではない、
齋藤子と雖も個人に於て、
果して一人の朝鮮人の魂を
囚へ得たであらうか、齋藤
子の宣言せし結婚策は將來
我國體に龜裂を生じ、羅馬
大帝國の轍を踏むことなき
やを憂慮するものである、
斷定ではない即ち憂慮であ
る。

思想犯を中心に

重要な二つの案

未決囚の優遇も研究する

五日から刑務所長會議

刑務所長會議は明五日から五日間、本府第一會議室において開催され、各刑務所長はすでに入城してゐるが、今回の會議で最も注目されてゐるのは

思想犯の取扱ひで、

今後思想犯は幾々増加する機運にあるので、これが取扱ひについては特に注意を要し、現在の様な思想犯

の取扱ひをなすにおいては、刑務所が思想傳播所となり、非常に憂慮すべき状態にあるので、總督府行刑課では思想犯専門の

刑務所を新設し思想

犯の集中をなし、刑務所内における思想の傳播を防止するか、又は各刑務所内に思想犯用の獨房を設け、分散主義をとるか、の二案が

あり、これ等については今回の會議では十分論議される模様である

刑務所は現在開城、金泉の二ヶ所があるが

未決囚の

優遇は内地

にあつてはすでにこれに着手され、刑務所内に賣店さへ設け、未決囚の便宜をはかつてゐるので、朝鮮でも早晩内地に順應して未決囚の優遇は考慮されるであらうし、これと同時に既決囚の優遇問題も考へするであらうといはれ、會議中の重要事項とされてゐる、その他少年

現在の所

二ヶ所とも

ハチ切れるような職員で更に一ヶ所増設したい希望を行刑課では有してゐるが、緊縮方針にある明年、豫算では到底増設を望めないから、もし少年刑務所の増設を容れられぬとすれば、一般刑務所における少年囚と成年囚との取扱ひ等についても論議されるはずである



京城
10.6.3

副島伯の自治論の根本を考察し
同化政策の研究を提唱す

(四)

◇何時にても識者の高説に従はん◇

草 莽 學 人

元來我日本の誇耀する所のものは、前にも述べし如く、大和魂である、大和魂は今や地球上の民族が賞讃する所のものである。

此の全世界の賞讃を受くる所の大和魂なるものは、一朝夕に凝り固まつたものではない、民族の勃興する所地勢良し、神代以來太平洋の波濤さ、富士の秀麗さに洗禮され、武士道に任侠道の凝結したる、精力の賜である、それを賀藤子や水野政務總監が、制度變更の文化政策に由て獲られやうなきを考へられたことは、大きな間違ではなからうか。

極東海上彈丸黒子の小乾坤に生息せる日本人に、偉い所のものは唯一の大和魂だ、日本人より大和魂を取

か、

又支那及朝鮮史を按ずるに、支那大國は二千年來朝鮮都督に失敗して居る、漢の武斷的統治も、唐宗時代の文化的政策も、元の武斷主義も、明の文化政策も悉く失敗して、清國は遂に獨立を許すの己むを得ざるに至つた。

朝鮮は瘦せて枯れても極東の一大舊邦だ、有史二千載の歴史を有し、二千萬の大民族を有し、遺傳的民族思想を有し、舊慣を有し、嚴然たる民族語を保有し、其の民族語は益々發展する事情を有する朝鮮民族だ、新教育を受けて、精神的に物質的に民族思想が開大して來れば、朝鮮魂は大和魂に對抗して來る、否な明かに對抗思想は一瞥と顯現し

でいらあう。

惟ふに副島伯の憂ふる所もそれだ、伯が自治を主張するに至るも、愛國の意の悲壯を酌まねばならぬ、不肖は大に同感である、不肖等の同化云ふことは、制度の統一や教育の連絡や、物質上の利害の共榮を謂ふのではない、精神的抱合統一が無ければ、それは同化でなくて混合だ、混合民族の末路は、地中海の彼方に、餘喘を保てる、昔の羅馬大帝國衰殘の姿だ。

國家の基礎の鞏固は、其の民族の結束にある、内亂解體は、異分子の勢力の増長にある、日本帝國今日の勃興は、上下心を一にして開大したる結果だ、即ち大和魂の結束したる奮興に因りて伸びたのである。

島伯の自治論に、不肖りすしも無條件に賛成ものではないが、伯の

自治論を誹難するの士にし
て、自治は朝鮮民族に獨立
思想を養成せしむるもの
として、反對論を行る人もあ
るが、獨立思想換言すれば
祖國恢復思想は、今日に於
て既に全民族に養成せられ
尙遺憾なく着々として根強
く養成せられつゝあるでは
ないか。

×

×

如く、興亡盛衰の歴史は、
無間矢鱈に、開大發展せる
日本民族の鑑戒だ、副島伯
の自治論も、確かに吾人の
研究せざる可からざる大題
目だ、徒らに章句の末を捉
へての揚足取を止め、眞に
同化問題を研究しやうでは
ないか。

×

×

今日の情勢を以て進化し
てゆくならば、將來の数は
龜卜するよりも明かで、不
肖等も十年十五年の後には
明白に敢て卒直に自治論を
鼓吹するかも知れぬ、何
なれば爲して甲斐無き同化
政策を撤廢し、離婚政策を
撤廢して、日本民族のみの
結束の鞏固を圖ることが、
日本帝國としての、無病長
壽法であらうと云ふことを
不肖は信するからだ、同一
血魂の純一性を助長せしむ
ることが、保國開大の道と
確信するからだ。

併合當時は、我政治家は
騎虎の勢に驅られて、何事
も研究してゐない、眞の朝
鮮の調査は出来てゐない、
寺内伯が總督となりて、營
々五六年間、其の熱心なる
調査と研究に依りて、伯は
確かに、朝鮮統治の根本政
策を擧まれた筈であつたが
朝鮮に對する薄識の凡々政
治家は、伯の朝鮮論には迎
合せなかつた。

×

×

願ふに、二十年の朝鮮統
治が、同化の根本政策を發
見し能はざる現狀に於て、
而して何等將來に處するの
準備なく、只漫然結婚政略
を採りつゝあるを見るに及
むで、朝鮮思想界の現狀に
鑑み、必らずしも不肖等は
朝鮮統治の大方針と云ふ看
板を眺めて、敢て樂觀は出
來まいてばないか。

然れども、併合以來聖天
子の仁政は公明正大、坦々
たる軌道を往くが如く、治
鮮の大方針は一定不動にし
て、總督府の文化政治が、
内鮮人同化に離婚政略を採
し今日、其の政策に反對し
やうなきは夢にも思はぬ

同化政策を誤まりし、羅
馬大帝國の壽命は、蜉蝣の

不肖は帝國治鮮の方針ミ、政治改策に順應し、流れに随がつて白波を掲ぐるのみである。

以上の議論は、只不肖が佛蘭西學者の、民族魂の遺傳論や、羅馬興亡の歴史を讀むで、其の研究しつゝ、ある所感を述ぶるのみだ、内鮮の識者、眞に朝鮮及朝鮮人を研究せる者、井底の痴蛙憂慮に過ぐミ笑はば、不肖の狂悖は之に過ぐるものはない。

×

×

たゞ不肖は、内鮮人の同化問題に付て、私に研究しつゝ、あるものを發表し、識者の參考に資し、且つ其の研究を勸奨するのみ、不肖の議論が不當であり、不都合であれば、何時にても之

を翫むつて、喜んで識者の高説に従ふのみだ。

之を要するに、内鮮人は識者も不識者も、此の至難の事業を突破し、一時混血に因る民族魂の酔顔を餘儀なくせらるゝ、こゝにありしとも、千年の後立派に進化されたる血統により、打て一丸ミせる大日本民族魂を更生することが出来るならば、何も申すこゝはない、蓋し無上至大の幸福だ、其の間西力の國難來なく、天下は太平無事であつてほしい。

×

×

終りに臨み、不肖は副島伯の健康にして、益々帝國の爲に論ぜられむこゝを、斬るものである(完)

同民會總會開く

來賓二百數十名

6.19日

非常な盛會を極む

同民會第二區總會は十八日午後三時より朝鮮ホテルに開催されたが同會々員二百余の外、來賓として池上政務總監をはじめ内閣官民有力者二百數十名が列席、まづ會長李達鎔侯爵の開會の挨拶、次いで會務報告、役員改選あり、それより政務總監の挨拶、來賓、阿部充家、丸山鶴吉、守屋榮夫その他數氏の祝辭等があつて同五時半閉會、別室において一同は茶菓の饗應を受けて散會した。なほ當日の池上總監の挨拶は左の如くである本日此の意義ある御會同の席に於て一言所懐を述べまして御挨拶に代ふことを得ましたことは私の最も欣幸とする所であります

て以つて其の所信に邁進せらるゝと云ふことは國家國民の爲めに洵に雄辯措かざる所であります今や半島の壘運は朝野の協力に依りまして逐年進展の實績を見るのであります然しながら深く人心の歸趨を察し、時弊の眞相を穿つに至りまして國家盛運の原勢、國民共昌の基調は尙未だ微弱なるものあるを憂へざるを得ぬのであります、而して之れ正に同民會の使命に對しまし一層の責任を負荷したるものと思ふのであります、何卒各位には一層深く此の世情に着眼せられまして益本會の主張に勇往せられ以て其の目的を貫徹して鴻猷の宣揚に貢獻せられんことを望んで已まぬのであります、玆に各位の御健在を祝福して御挨拶に代ふことと致します

潜に惟ひまするのに、東洋の大局は疊に御煥發に相成りましたる併合の御詔書に御宣示の聖旨を格遵致しまして内鮮一體となり剛健なる人心の歸趨を一にして以て益々國家興隆の根本を鞏固ならしむるより急を告ぐるものはないと確信致して居のであります。半島の統治と申しましたも其の本旨は畢竟之に外ならぬのであります。而して此の大義の徹底は固より之を總督政治の更張に俟たなければならぬのであります。が又一面に於て民間に於ける先覺の熱誠に對待せざるを得ぬのであります。此の點に就きまして内鮮の同志各位が相圖つて同民會を組織せられ、大局に高處して内鮮融和の徹底的實行を期せられ更に或は實質剛健の氣風を養ふて輿論浮薄の思潮を排じ或は勤勉力行の風を興して放縱情弱の弊を戒むるが如き最善なる綱領を明にし

朝鮮常備軍の増加に就て

日

國境警備の問題が、近時著しく入益しくなつて來たのは、抑も何なる理由に基づくものであるか、そのいかなる理由にせよ、國境警備と朝鮮における兵備充實の問題が、今や議論を超越して、その可否を斷すべき最後の段階に達したといふことは事實である、しかししてそれは否にあらざる可である。既に東電は報じて曰く「田中首相も朝鮮における兵備の不足を認め、更にまた東上中の總督も『朝鮮は元來地理的に見て在留民の生命財産を確保するためには現在の兵力では満足出來ない、自分としては將來どうしても増兵の必要があるものと思ふ』と訪談の記者に語つてゐることは昨夕報の通りである、半島二千萬民は、この問題について永い間政府に向つて應ふところあつた、最近には期成同盟會まで組織して眞剣にその必要を叫んだのであつた、然るにこの朝鮮の要望は、今や酬はれんとしてゐる、朝鮮の喜びはこれより大なるはないであらう。」

國境の警備力は、或は手薄でないかも知れぬ、しかし、時賊の越境、若しくは大尉の拉去、殺害事件は何故に生じたか、少くとも時賊輩の心理に立入つてみたならば、朝鮮國境の警備を懈れなかつたといふ不慮の心持があつたからではなかつたか。」この際一度び屈すれば仲よべからずである、われ等の國境は常に警備してゐなければならぬ、敵に襲するの機を與へてはならない、豫子もいゝるではないか、「故國敵者、立於不敗

之地、而不失敵之敗也」と。國境の警備は常に優位にあらねばならぬ、國はずして常に敵を敗るの用意がなければならぬ、這般の時賊の越境、殺害事件は、この點において、われ等に反省の材料を與へたものと見るのは不當であらうか、若その要ありとせば、即ち國境警備力の充實となつて現れ來ざるを得ない、果然東電は更に報じていはく「首相以下朝鮮巨頭が參集して滿鮮國境警備の充實」について具體的協議を行ひ、その結果として朝鮮の常備軍二ヶ師團が三ヶ師團に増設されるであらう、と

朝鮮の師團増設が、果して右の如く實現されるや否やは豫算關係もあり、從つて議會の協議をも經なければならぬ、然し然りと雖も言は出來ないけれども、朝鮮の兵備充實の必要は單に朝鮮のみの要望でなく、中央政府においてこれを認めてゐるといふことだけは事實である、これは何として朝鮮の大きな喜びでなければならぬ、も早議論の時でないといつたのは即ちこゝだ、中央政府が認めた以上、變るは斷行の時期如何である、これとても、恐らくは遠い將來ではあるまいと思ふ、何ゆえといふに、滿洲並に國境の現狀は雄辯にこれを物語つてゐるからである。

朝鮮軍二ヶ師團が、國境附近に集結されるといふ東電が眞實ならば、新たに内地から移駐する一ヶ師團は勢ひ朝鮮に配師さるゝと見

ることは、常識的にも容易に判斷し得られることである。しかし國境附近といつても、その範圍は廣い、果して何れに配師すべきか、これは何人も知らんと欲するところである。軍事當局の信ずる處によれば、羅南を中心に一ヶ師團、平壤を中心に一ヶ師團、しかしして新駐屯軍は京城を中心として湖南地方に配師されるのが至當であらうとのことである。湖南地方は、從來兵備の手薄を以てしばしば地方民から軍隊駐屯の希望のあつた

土地である、若これが實現したならば、ひとり地方民のみならず朝鮮のためにも一層喜ぶべきことになければならぬ、何は果もあれ、朝鮮の兵備充實問題がいよいよ具體的になつて來たのは御同様に喜ぶべきことである、そしてこれによつて、國民は一層意を安んじて産業の開發、文化の向上に努力することを得たならば、國家のため二軍の喜びといはねばならぬ。」

(和島生)

6.20
日

朝鮮へ師團増置は 經費の上から困難

守備隊増員と憲兵復活等

軍部での應急案

京

【東京電報】最近唱えらるる朝鮮師團増設或は騎兵一個旅團増置の兩意見につき陸軍當局は詳細な調査を行つてゐるが今一個師團を移駐するにせよ兵舎建築費並に輸送費に約四千萬圓の臨時費を要し經費も内地師團よりも約百二十萬圓の増を見騎兵旅團移駐も大約右經費の半額を要する見込である。然るに軍部財政は政府と實同との政策協定に基づく軍人優遇費捻出すら容易ならぬ状態であつて右移駐は經費關係から到底近きに實現を期待し難き状況にあり軍部は右二案の實行難に鑑みて左の如き應急案をも考慮してゐる

一、鮮滿國境守備隊の増員 一、國境方面憲兵隊の復活

對岸への軍隊進出と

第一線に警官増員

朝鮮國境の警備について

總督から閣議に報告

【東京電報】山梨總督は十九日閣議に朝鮮國境警備方針につき大要を左の如く報告して諒解を求めた

一、滿洲擾亂の事態發生せんとする時は直ちに朝鮮對岸の或る地點まで軍隊を派出せしめ國境の交通維持、治安維持に任ずる必要ありこの點に就いては參謀本

部とも協議したい、

一、同時に一時的に治安維持の爲め國境第一線に警官の増員を行ふが之は南鮮方面から補充する

一、國境方面より共産黨員の潜入するものがあると位置し、極めて重大の影響あるに依り徹底的取締りを講ずる事とした、

鮮内治安維持の爲め

警官一千名増員

本府、地方を通じて官制改正

六日の閣議に提出

京 日

【東京電報】山梨總督は東上以來、昨中官制および軍部當局と會見して朝鮮内の思想取締治安維持方策につき種々折衝をなした。あつたが増師父は増兵問題は閣内中にも反對論者相當あり速急の解決が困難となつたのでまづ警察官の増員を以て當面の對策とし官制を改正する事とし法制局に對し

一、朝鮮總督府官制改正の件
二、朝鮮總督府地方官官制中改正の件
の二案を提出中であつたがこの程右二件共閣議終了したよつて總督府側は三日の定例閣議に上程される事を希望してゐたが法制局は前田長官旅行不在のため決議をうるに至らず六日定例閣議に提出され

ることになつた閣議決定の上は總督府官制のみけ直に樞府に廻附諮詢の手續を執るはずである。これが改正により警務局内に事務官以下若干地方廳においては警視以下警察官約一千名近く増員されるものである

のものが無いといふ感が教育者や運動競技會間に於ける文部省での要求豫算の内に教育課を同じに擴充することとなつた

本府の巡査増員

百九十五名増員を發布

本府限りで決め得る分として

兩局官制改正も六日閣議による

思想取締方面の充實に伴ふ警務局法務局關係の官制改正は先般審議室白銀事務官が據り東上したが、東電の報ずる所によると右案はすでに法制局の審議を終り來たる六日の定例閣議に提出することになつてゐる模様である、右は思想取締に關する増員の内警務局にあつては事務官四名、警視八名、外警部、警部補、通譯等判任官以上の分、法務局にあつても檢事五名、書記、看守長など判任官以上である、警務局側巡査の増員は總督府限りで決定しうるもので七月二日

付内訓第七號で發布されたが、今の増員は思想取締と兵事事務に伴ふ分を加へ合計百九十五名で、各道の配置は左の通りである

| | | | |
|----|----|----|----|
| 京畿 | 二二 | 忠南 | 二四 |
| 全北 | 七 | 全北 | 二二 |
| 全南 | 二二 | 江北 | 二七 |
| 慶北 | 一一 | 江原 | 四 |
| 慶南 | 一一 | 咸南 | 五 |
| 黃海 | 二二 | 咸北 | 九 |
| 平南 | 一六 | | |

なほ朝鮮の巡査數は一萬七千八百八十八名で今回の増員百九十五名を加へると一萬七千三百八十三名となつた

百九十五名の

巡查を増員

七十名は思想取締
各道の配置をこまる

總督府の思想取締施設に對しては、
並に追加増算するに於て、四十一萬餘
圓を計上し、官制改正の上實施する
ことになつて居るが、右官改正につ
いては、白銀事務官が目下東上法
局との間に交渉を重ねつゝあり、閣
議を経て發布される筈である。而し
て官制改正の内容は、警務局に於て
事務官四名、警視八名、其他通譯、屬
警部、警部補の増員を行ひ、之れを
各道に配置し、法務局に於て、總務
局長の増員を行ふにあるが、尙ほ之
に伴ひ、道巡查の増員を行ふこと

になつて居るが、之れは別の官制に
改正を要せぬので、二日附内訓第九
號を以て、思想取締巡查七十名並に
兵事々務擴張に伴ふ、巡查の増員百
二十五名計、百九十五名の増員を發
表左の通り、各道に割當を行つた之
れによつて、全辭の巡查定員は一萬
七千三百八十三名となつた。諸道各
道配置は左の通り
京畿二名 忠北七名 忠南四
名 全南一一名 全北一三名
慶北八名 慶南一一名 黃海二
三名 平南一六名 平北七名 江
原四 咸北五九名 咸南九名
計 一九五名

兵事事務擴張

思想取締の巡查増員

總計百九十五名……各道割當決定

朝鮮の思想取締機關充實に伴ふ經費三十五萬圓は既に臨時議會の協賛を得てをり判任官警部補以上の増員に依る官制改正は白銀審議室事務官が目下東上して法制當局と折衝中であるがこれと共に約七十名の増員を見ることになつてゐる高等警察課に屬する巡查は何等官制改正の要なく内訓を以て増減し得ることになつてゐるので豫て警務當局に於て各全

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|
| 全南 | 一三 | 咸南 | 五九 | 全北 | 二二 | 江原 | 四七 | 忠清南 | 四七 | 忠清北 | 一六 | 京畿 | 二二 | 黃海道 | 二二 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|

慶北 八
慶南 一
合計 一九五

朝鮮に於ける

特高課の新設置

十日の閣議にて決定した

新 朝

3. 7.

その内容

(十日發東京電) 朝鮮における特高課新設に伴ふ朝鮮總督府部内臨時職員設置制中改正案は十日閣議にて決定御裁可を仰いで直ちに勅令を以て公布されることとなつたが内容は左の如くである

一、總督府内部にありて思想調査に従事するもの事務官四屬四、通譯生四

一、地方廳にあり思想取締に任ずるもの警視八、警部七、警部補廿六
尙右官制の公布と同時に夫れに伴ひ巡查の増員も行ひその總數は千人近くに達する筈である

思想取締

増員の配置

7.12日

警部以上の配置は決る

改正勅令は明日中公布

思想取締に關する警務局關係の官制改正は十日の閣議で決定し、今日明中に勅令の改正を見るはずである。警務局ではこの勅令の改正と同時に増員になる事務官四名、警視八名、警部七名、警部補二十六名あるは左の如くである。

事務官四名

圖書課一名、保安課一名、海外派遣二名（滿洲里とモスクワナヤ）

警視八名

平安南北、咸南北、全南北、南北

警部七名

忠南北、江原、實、外三名は出版取締

この外警部補廿六名はこれに準じて各道に配置するものになつてゐる

朝鮮には

特高課はいらぬ

移動警察は研究を要する

富永保安課長歸來談

内地の警察部長會議に出席中であつた警務局長富永保安課長は左の如く會議の様相および思想取締に關して語る

警察部長會議はたゞ陪席しただけで何も無いよ

思想取締

に關する保安課としての事務は東京で種々打合はせて來た、昨日の閣議では決定し、今日明中に勅令の發布を見るであらう、勅令が發布されても思想取締に關するものが全部一時に實施するようになつてはなからう、圖書課・保安課關係のものは直ちに實現する模様である、海外派遣員の増員もその一部として實現されるが、増置場所及び昇格地等は目下詮議中で發表出来ない、特高課を設置するようになつてゐる

内地では高等課は政治、選舉方面の事務に關つてゐるので、思想方面を特高課に分立せしめようといふ案も成立するか、朝鮮は政治、選舉などといふものはないから高等課だけで結構である、御大典の警備はボツ／＼これから始める心算である、來る十六日から二日間全韓高等課長會議を開き主としてこの方面の協議をすることになつてゐる、移動警察はまだ種々研究の餘地が残つてゐるから何日から實現するといふようなことは判らん

内地では一時これを行ひ成績不良のため中止し現在では各府縣別個に行つてゐる現狀だから若し朝鮮に移動警察を行ふとすれば十分調査研究してかゝらねばならぬ

京城
3.7.29

思想警察を論ず(上)

思想的難治時代を迎ふ

草莽學人

韓近朝鮮人は、事毎に統治方針に反對し、聖天子の仁政に辜負せんとするは、眞に憂ふべき現象だ。

今や距ること二十年、日本帝國は東洋の趨勢、日韓の關係に鑑み、韓國を併合して、其の廢亡より興し内鮮人同化の大方針に立脚して、政治を革新した。

當時半島經濟的立國の原動力は、農産であつた彼等は兩班てう特權階級の下に五百年來苛政と誅求に泣き生命財産の安全を得ずして王國の虐政に塗炭の苦を嘗め盡した。

是故に、朝鮮農民は、殆んぞ併合に無關心にして、苛斂誅求の虐政より蟬脱し生命財産の安固を得るの爲政者出で來らば、それは日本人であらうと、朝鮮人であらうと、敢て顧着する所ではない、善政を懇求すること、大旱の雲霓を望む如しであつた。

果たせる哉、我 聖天子の朝鮮を知ろし召し、總督政治行はる、や、韓國時代

の虐政に懲りし、農民も普通民も、政治上に一大革新起りて、自由民權の向上に狂喜し、新政に生きて、徳政に謳歌し、不純なる祖國は、朝鮮人の頭腦より全然葬むり去られて了つた。それは吾人の僞らざる事實である。

斯くて新政下の朝鮮人は明治大正の典章の下に、其の教育を開大し、其の産業を開發し、鐵道交通を發展し、衛生は發達し、今や其の文政は日本内地と連結せられ、總督の文化政治は、盛んに鮮人の智徳を鍊磨し其の仁政の普及に伴ひ、同治同化の域に往來せんことを理想として居ることは、眞に朝鮮人萬歳ではないか。

然るに、新政の庇護に因りて、人間らしくなりし鮮民は、其の智力の進み、富力の増じ、其の社會の略理せらるゝに伴ひ、祖國回復思想を涵養して來た。

今や朝鮮民族の最大部分は、日本の政治圈より離脱

して、獨立したいと云ふ不逞思想が勃發して來た、朝鮮は朝鮮人が治めたいと云ふのである。

そんな事は、政治的にも道徳的にも問題と爲り得べき性質のものではない、心ある朝鮮人にして、冷靜に朝鮮の今日に至れる道程を考ふるべき、痛腔血涙を以て感謝すべきであらねばならぬ。

史を按ずるに、漢の武帝が朝鮮を征伏して、四郡と爲せし以來、魏起れば魏に附き、隋起れば隋に附き、唐起れば唐に附き、元起れば元に附き、明起れば明に附き清起れば清に附き、未だ曾て一たびも王國の意氣を發揮する能はず、宛かも遊女の朝に南男を送り、夕に北客を迎ふる如く、無節操無氣概の醜態は、二千年の長き間を繰り返へした。

然れども未だ曾て、一たびもそれ等の大國に心服する能はず、緩なれば増長し嚴なれば萎縮し、而從腹背を以て始終したのだ。

明の文化政策ミ、懷柔政策には、朝鮮人は心服したでないか、云ふ人もあるが、清太祖の滿洲に興起して、明朝ミ對抗するや、朝鮮人に義心有らば、明ミ協力して滿清を夾撃すべきである。

然るに朝鮮は、二萬の兵を出して、逆に恩誼の明國を伐ら明兵を虐殺せしこゝば、清兵さへ驚かされた。

己に虚心坦懷にして、大國に服従する能はず、又毅然として獨立する能はず、冗語喃喃、蠢動を繼續するこゝ、今も昔も同様だ、吾人は朝鮮民族性の昏沌として適歸するなきを、切に遺憾とするものである。

然しながら、仁政徹底し普通、高等の教育普及するに従ひ、朝鮮人が眞に覺悟の域に達道するならば、面従腹背の民族性を抛つて、日本民族性ミ同化し、大日本人ミして誇耀するに到るであらうと觀て居るのが、我政治家だ

吾人も亦二十年來筆陣を張て、朝鮮民族性の改鑄を絶叫し、鮮民族が政治的に自覺し、道徳的に大悟し、日鮮兩民族の大同化を達成して、東亞大帝國を築造し大陸四方に發展し、帝國の理想ミする東洋平和の繁に達せんこゝを主張して居る。

鮮人少數の識者は、吾人ミ感慨覺悟を同ふし、聲を枯らして、横道を踏むな、右傾せよ右傾せよミ指示して居るが、今や民心は路々として、左傾しつゝある。

惟ふに、金明濬氏等ミ采配する國民協會は、朝鮮思想界の惡風潮と打破し、岐

路に立て迷惑せんミする鮮民に、東道の主たらんこゝを期せるも、不逞思想の決壊せる濁流は、千波萬波を起伏して、何物も押し流さんミ渦を卷いて居る。

見よ本年に入りて、學生の同盟休校は、五十八校に達して居るが、皆之れ民族思想惡風潮の結果だ、單に學生ばかりでない、父兄の思想も、農民普通民の思想も悉く激變して居る。

旱魃で水が不足すれば、水利組合に押し掛けて暴行し、警察官でも組合事務所員でも、手當り次第に袋叩きにすら、地方内地人少數の社會に於ては、官民共に受太刀だ、斯くの如くにして、月に歳に、民族的對抗心が、旺盛に馴致されつゝ、

ある。

此くて朝鮮は、今や正しく思想的難治の時代を迎へた、滔々たる鮮民、何を夢みて長へに適歸する所を知らぬであらうか。

惟ふに、馬賊の襲來、不逞鮮人の越境事件の如きは吾人は決して之を憂慮せず否憂慮せざるには非しも、表面に現はれ来る武力に對しては、國境守備兵や警察官を増員配置すれば足りるのである吾人の深處に堪へざるものは、國境以南の文化地帯に於ける、思想的盲動、不穩の言論煽動である。

斯かる事件は、行政官の力を以てしては、到底之を防護し、取締り、指導することには出來ない、結局警察

官の力に俟たなければならぬ、然も現在の朝鮮に於ては、警察機關は頗る不十分と認むる。

吾人の觀る所では、現今國境方面の治安も勿論だが國境以南の各地方の治安が動もすれば保ち切れなくなりつゝ、あるが如きは、それは當局が自から招く違算の罪ではなからうか。

×

×

曾て、故下岡政務總監は來任、劈頭に於て、警察官二千人の大減員を行つた、そして其の減員より生ずる國費を産業方面に利用する云ふので、民間の人氣は一通りではなかつたか。下岡氏の産業第一主義は、勿論吾人は之を謳歌し

たが、警察官大減員の準備あるを聞くに及んで、吾人は其の無謀には敢然として反對した、朝鮮は、治安維持が先決問題だ、治安を冷眼視して、産業の發展、教育の圓満普及を望むは、木に椽て魚を求むるの譏りを免れない。

顧ふに、朝鮮の警察機關は、益々充實せざる可からざる秋に於て、下岡氏の政治的違算に因りて、治安の事務は逆轉した、産業第一主義を以て朝鮮を風靡し、懷柔政策を以て朝鮮を蔽はば、朝鮮は手こ唾して治む可し、多寡を括つた。

×

×

そんなことで朝鮮が治ま

らうと思ふのが、其に違
だ、此の違算は實に今日に
大影響を來して居る、假り
に此の二千人の警察官を以
て、國境方面に其の定員を
増加し、其の連絡を近邇せ
しめてゐたら、馬賊の跳梁
や、不逞鮮人の侵入と防壓
する位ひの事は、何んでも
あるまい。

彼の統制なき馬賊、彼の
無賴強盜に等しき不逞鮮人
の侵入に備ふる爲め、國家
の干渉たる陸兵を常備する
の議論なきは、起らなくて
濟んだかも知れぬ、朝鮮に
對し、吾人が師團の守備を
要求する所のものは、大陸
の亂世に備へ、鎮壓に備へ
んとするのであつた、馬賊
や強盜に備へんとするので
はない。

思想方面の

取締りを嚴重に

優秀な警官を養成

伊藤事務官語る

治維法改正方針に基づく朝鮮警察官の増員任命はさきに發表された如くそれ／＼任務につくことになりこれが總支配格たる警務局保安課の

一陣容一

も近日増員事務官その他の就正と共に充實一新さるゝ譯であるが國家を燈石の安泰に置かんとする傳來の寶刀が今後如何なる切れ味をみせるかが試めさるゝわけであるが一方保安課では警察官講習所に對し所要の専門警察官養成につき指達する處があつたが、これにつき警務局伊藤事務官は左の如く語つた

専門の警察官といふ程でもないがこれから思想上の問題については各方面にわたり廣く深く研究もし強い自信の下に取締りも

せねばならぬのでこれに據はる警察官としてはこの方面の智識を涵養して置く必要のあることは勿論である、従つてこの養成といふ事が適當たつて

一考慮一

せねばならぬので警察官講習所でこれに當たる

事になつてゐるが目下各道より優秀の警官を選拔養成することに設備中である、然して御大典がすんだら直に實行の豫定で講習所で立案計畫されてゐるはずである

京 三 次 間 機 關 を 擴 張

して 議 決 機 關 と する

いはゆる 自 治 制 問 答

4. 2. 13

樺太町村制委員會の速記録から

去る四日、目下、國會中の帝國議會大正十年法律第四十七號改正法律案（樺太町村制）委員會において、委員清水留三郎に議士からたまく朝鮮および臺灣の地方制度改正に關する質問があつた。これに對し、朝鮮の分は池上本府政務總監から臺灣の分は河原田臺灣總督府總務長官からそれぞれ答へられたが、今該委員會速記録よりその要領を摘録すれば左の通りである。

面や道の

議 決 機 關 改 制 は

まだ時期が早い

清水委員 現在朝鮮臺灣から衆議院議員を出すといふとは無論時期尚早であります。又現在朝鮮臺灣において内地の府縣會といふやうなものを作るといふことも時期尚早に思ひます。たゞ現在あります評議員制度の如き諸機關の制度を今少し擴張して、民選議員を一部包容するやうになればよろしからうと思ひます。このやうな地方制度の改正を施す必要はありませんかこれに關する御意見ならびに御調査の程度を承りたいと思ひます。

池上政府委員

御答へ致します、御質問の要點だけについて御答へを致す方がよろしからうと思ひますから、其意味によつて御答へを致します。たゞ今朝鮮の府、道といふやうなものに對しまして、道には朝鮮道地方會といふものをしてあります。その道評議會に附すべき事項は歳入出豫算或は諸税金の賦課、或は起債、財産處分といふやうな

申上げました府であります。これは現在十二あるであります。その中或は釜山、大邱京城、平壤、これ等に付きましては只今の諮問機關を改めまして、議決機關にするといふことが今日の時勢では當然ではないかといふやうな意味をもちまして、特に調査を命じましたのであります。その他面等に付きましては、まだ諮問機關を改めて議決機關とするといふやうな所には達して居りませぬと認

これが實現を期したいと存じまして、目下其方の調査を進めつ、あるやうな状態でありま

す。その事を御答へ致します。河原田政府委員 臺灣は大正九年以來一種の自治制を布いて居ります。之はつまり州制で、内地の丁度府縣に當ります。その後多少の變更はありましたが、大體は大正九年以來の制度であります。それで州には協同會といふものがあり、内地の市町村に當る市街庄にも協同會が設けられてあります。ところでその協同會といふものは、只今朝鮮の方から申されましたやうに、決議機關ではなく全く諮問機關であります。そしてその協同員は全然官選であります。これは大ぶんに内地とは異り、朝鮮と違つてゐます。ところで、これを直に内地の如き制度にするが適當であるか否かといふことになると、御承知のとおり臺灣の文化は尙未だ不充分でありますから非常な問題があると思ひます。それで臺灣總督府におきましては、地方制度の改制といふことは常に考究を怠りませぬが、今日直にどう改めるといふことについてはまだ御答へする時機に達して居りませぬ

參政權を

我等に與へよ

2. 21

朝鮮 國民協會會員連署し

政府へ建白書提出

【京城】國民協會では朝鮮に參政權を實施すべしといふかねての主張を貫徹するために十八日協會長金明滯氏以下署名して内閣へ「政府は朝鮮に衆議院議員選舉法を施行せられんことを望む」との建白書を送つた、建白書に掲げられた主なる理由は

一般國民に參政權を與へる

ことは立憲國の常道であるに朝鮮在住の二十萬大衆が參政權に與らずにあることは國民としての不幸である政府は朝鮮の文化程度が内地と同一程度に達しないことによつて參政權の附與を躊躇してゐるやうであるが參政權を與へることは反つて文化を向上せしめるゆゑんではないかといふにある

與へる意思はないか
簡易保險特別委員會で
行はれた一問一答

【東京電話】朝鮮簡易生命保險法案特別會計法案委員會は二十三日午前十時五十分から衆議院で開會朝鮮統治に關し左の問答が行はれた

坂東幸太郎君(民政) 朝鮮人に對し何故轉籍を許さないか
草間財務局長 いまだ國籍法を施行してゐないためであるが成べく早く實施したい考へで目下中樞院において調査研究を續けてゐる

坂東君 然らば内鮮變互に結婚した場合入籍は出来ないのか
草間局長 左様である

坂東君 内鮮融和のためこれは是非とも速かに現状の改革を行はれんことを希望する、次に朝鮮人はロシア、支那などに現在百萬人以上出稼してゐるとのことであるが、これらの保護は如何にしてゐるか
草間局長 領事館を通じて保護してゐる、これがため經費數十萬圓で大體順調に行はれてゐるものと思つてゐる

坂東君 滿洲方面では甚しい壓迫を蒙り悲惨の生活をしてゐるものが多いとのことである、總督府においては十分注意して彼等の國外發展を保護助長されんことを望む、聞くところによると京城では滯納者が多く最近の調査によると十一萬三千圓の母額中六萬圓、四萬人の納付者中二萬人の滯納者があるといふことだがこれは彼等に納税の觀念が薄いためか、または生活困難で實際に納税する能力がないためであるか
草間局長 滯納のあるのは主として地方税で國税の方の成績は悪くない、地方税は内地でもなか／＼うまく行かぬのである、但し賦課率は内地よりはるかに低く内地の一戸當り十四、五圓に比し朝鮮は六十八錢平均になつてゐる、要するに納税の成績は自治的觀念がなほ十分なるに起因するものと思ふ

坂東君 朝鮮人の戸数は現在約四百萬戸といふがその總所得額はいくらに上つてゐるか
草間局長 所得税を課してゐないので指定し得ないか

坂東君 これは朝鮮人の生活安定策を立てる根本をなすものだから至急調査されんことを希望する
赤尾藤吉郎君(政友) 朝鮮人に對し各種の選舉權をあたへる意思はないか
草間局長 なほ早しと考へてゐる、しかしその第一歩として地方團體に對する選舉權はあつたへである、これは諮問機關ではあるがその答申は大いに尊重してゐるから決議機關と同様の効果をもつてゐる、なほ一般の參政權についても調査は進めてゐる

それより本題の簡易保險の質問に入り
坂谷順助君(政友) 本法を施行するによつて民間會社等に大なる影響をあたへることはないか
草間局長 朝鮮生命保險會社は現在本店を有するもの一、支店を有するもの五、合計六社でこれが被保險者は約四萬六千人である、しかし本法施行によつて受ける影響は微々たるものである、といふのは本法による最高契約高は四百五十圓である會社側では殆ど五百圓以上であり、しかもその多くは内地人であるから本法による被保險者は朝鮮人を主としたといふ考へである

草間局長 朝鮮生命保險會社は現在本店を有するもの一、支店を有するもの五、合計六社でこれが被保險者は約四萬六千人である、しかし本法施行によつて受ける影響は微々たるものである、といふのは本法による最高契約高は四百五十圓である會社側では殆ど五百圓以上であり、しかもその多くは内地人であるから本法による被保險者は朝鮮人を主としたといふ考へである

全体を通して

依然緊縮方針

(一)

2.

申道知事の演述

於第十二回道評議會

昭和四年度道地方費豫
算を御諮りすることは洵
に其の他に關する重要
來前任諸官の努力と一般道
民の自覺奮勵とに依りまし
て道勢は着々伸展し來まし
たけれども時勢の進運と既
往の實績とに鑑みますると
即位の禮及大洋祭
をしましては全道舉つて
忠忱を發露し各地相
互に記念事業を畫せるは
如回應に堪へません次
に昭和三十二年第十一
回道評議會の取極めに依り
は道評議會を代表し賀
思ひます、今回本會に諮問
及提示すべき案件は既に各
年度の比し多くの
位の御手許に配付の通であ
ります昭和三十四年度道地方
費一般豫算を概觀しますと
千六百六十九圓であります
に於て収入増であります
の外繼續年期及支出方法た
る道立
大田醫院の昭和三年
度収入額は追加豫算にあり
ましたが本年度分は本豫算
に計上しました等の關係に
て前年度に比し二十一萬一
千四百二十三圓増加であり
ますが純地方費の増は僅少
に過ぎません次に一面歳出
に於きまして亦諸機關を
維持し從來の事業を經營し
て行く爲に免れ難い所謂自
然増加を差引きすれば前

餘裕をも 見出し得な

いのであります故に豫算編
成に當りましては

一、全体を通し依然として

緊縮方針を旨とし新規事

業は主として道全般の福

祉増進につき特に必要な

るもの、外之を認めざる

こととし努めて人件費の

膨脹を避け出來得る限り

を事業費に充つること、

二、既設の事業に付ても既

に其の目的を達したるも

るものは之を廢止し縮少

することとし

三、補助事業に在りて之を

貸付制度に改めて將來の

財源を涵養する主義の下

に漸次更改を行はむとし

み出來る大け多數民の福

利を進め民力を涵養する

根本に向つて力を及しま

した、素より之を、こし

ては不十分であることは

言ふ迄もありませぬけれ

ど財政計畫に就ては申す

迄もなく入るを計つて出

づるを制しなければなら

ませぬから各位に於ても

本道財政状態々態と御了

知を得て置きたいのであ

ります

道内道路の大部分は

改修せられましたが、

橋梁暗渠等構造物は概して

木造でありまして漸次改造

層道路の効果を完、

が、爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

構造物に改造せむが爲相當

の新計畫を樹つるの準備を

いたしました(未完)

要望と時勢の要求とに鑑

極力整理按排して地方の

に漸次更改を行はむとし

財源を涵養する主義の下

貸付制度に改めて將來の

補助事業に在りて之を

爲道内全部のものを年を追

て鐵筋コンクリートの永久

南
依然緊縮方針

湖

申道知事の演述

4.2.28

當増收に主力を注がしめむ
とする總督府方針となりま
しかるに依り道としても之
に順應する方法を採るゝ
としました

公立普通 學校は昭和
四年度より十一年度迄に一
面一校主義を實現すること
となり、師範學校は特科を
廢し、官立を原則とせらるゝ

道内林野 總面積四千
爲本道師範學校計縮少昭和

七百五十町歩餘でありまし
 は内務部長をして説明致さ
 の試みとして小數の監守せ

憾をきを期せむとして居り
各諮問案の詳細に付
ては御質問に依り懇興員を
して答辯致します。慎重審
議あるべき事と見ゆ。線一
千

老婢 漁港の見るべきも置きます

十二萬石なりとの今や
百五十萬石
を突破千九百十九町光餘生産高
本道棉作 反別一萬二
のなき現狀でありまして水
産獎勵上漁港の設備は必要
なるもの、でありまして

ますれば 明治四十四年百三
十二萬石なりとの今や

百五十萬石

質問の火蓋は切られ

論戦に花が咲く

民 3. 休會明けの道評議會

議案研究のため五日一日を休
した。尙北道評議會は六日午後一
時から續開。李宜錫、由漢乙次郎
兩議長缺席。兵頭太府事務官、
今村知事議長席に就き開會を宣
れば文明琦（益徳）議員眞つ先に
發言を求め

三十三番文明琦

早害民

救済のためお互に節約して各自
一圓以上の義捐金を附したい
と提案すれば議長金栗圭君賛成

（十八番）關口半

議事

進行につき發言議題外であるから
として三十三番六番の發言に注意を
求むれば文明琦君例により滑稽演
々たる説明をする

今村議長

早害民の窮狀に

つては聞けば聞くほど同情に堪
へない。當局の施設についても道
議の數が多いといふことであるか

ら各課に就き府々救済施設を講じ
萬全を期しつゝある當局としても
それ／＼應分の寄附することにし
た、故に三十三番の提案は適當の
機關に於て審議することに議腔の
賛意を表するとて保留となる

日程に入る

續いて日程に入り、開第四號より
八號まで一括議案とす

番外（堂本財務部長）

諸
同第二號以下の歳入豫算につき國
税及地方税の改正されたことに就
て説明するところがあり

伊藤議員の一大獅子吼

▲十六番(伊藤吉三郎君) 私は諸君からその上臆をばねて道路橋梁費に充てやうと云ふ様なことは餘りにケチ臭いと思つたのが反對の一つそれから道地方費豫算に參與する諸議員が道地方費關係の會社に直接利害關係を持つと云ふことは他日地方費豫算審議の上にも公平を失するが如き場合が出来るかも知れないと云ふことを相違いたしまして諸議員たるものは此の如き會社の株式を持つと云ふ事は遠慮すべきものであると考へました事も反對の一つそれから外に種々の理由もあるが勢ひの越へる自然

事は會社設立に付き道評議員より五名の創立發起人を無記名投票に依つて選舉當選者は辭退すること無く絶体に之を承諾する様にとの事を申されたのであります、當時私は少しく感ずる所もありまして可成遺憾方針を以て會議に參與したのであります、したが當選は絶体承諾する様にとのことであり、無論株式會社の創立發起人たる以上株式の所有と云ふことが第一條件になりますので私は遂に一言を發せざるを得なかつたのであります、

本員は道地方費が自動車會社に投資し半官半民の共同事業を起すと云ふことには大反對の意見を持つて居つたのであります、それも

廣い意味に於ける社會政策的見地から資金を統一して極めて安い料金の車運もうんと増加して一般

細民階級

にまで文明

の惠に浴せしむるものであるならば大よろしいが自動車儲か

民業壓迫

に陥るやう

なことがありはすまいかと考へ
果に角をうした様な理由で私は例
へ創立發起人に皆様が御投票下さ
つても斷じて御受は出来ないとい
ふ意志表示をしなければならぬ
絶對にお受けしないと云ふ意味で
一言お断りを申述べた様な次第で
あつたのであります

中谷君はいつも新聞などで道營
自動車満場一致で云々と云ふ
ことを言はれて居りますが私共
には満場一致と云ふ言葉は少々
耳ざりでありまして、殊に昨年
決議になりましたのは新に會社
を設立する等で五名の創立發起
人まで決定した様な次第で既設
會社に手を觸れる様な話では無
かつたのであります、然るに其
後創立發起人に對してはヨリ以
上有利な方法を講究中であるか
ら乍折角創立發起人の件はお断
りして置くこと云ふことで五名の
諸君は何れも断られ、いつの間

にか韓文東海の二自動車會社と
手して共榮自動車會社と云ふ
のが出来上つたのであります
自動車會社は資本金四十一萬
圓の全額拂込済の會社であります
が新聞傳ふる所或は新聞紙の報
する所によりますると會社より十
九萬圓の株式寄附を受けそれに換
算の二萬圓を加へて二十一萬圓即
ち四千二百株の所有者となつたと
の事でありますが果してその通り
運ひはありますまいか先づその
點を一寸伺ひます

番外

(谷士木課長)

事實であ
ります

十六番

共榮自動車會社の
十九萬圓の株式寄附は新機か許可
してやると云ふ交換の意味のもの
であると思はれて居ります
すが、その真相は如何であるか

番外

(河野警察部長)

路線の
許可は當然警察部長の権限であ
るから地方費の方からは約束せ
なかつたと思ふ従つて許可許さ
ぬとの問題でないと思ふ

十六番

他の路線は許可せ
なかつたか

番外

(河野警察部長)

無論警
察部の権限によつて許可したか
も知れぬが地方費には關係がな
いと信ずる

九十五株は

どうしたのか

賣買でなく無償で貸與
實質は道が握つてゐる

十六番 共榮自動車會社の考
課状を見ると、岡山北道地方費持株
四千五百株となつてゐるが九十五
株はどうなつてゐますか

番外(信原地方課長) 岩井氏に
配當は道地方費が受ける約束
貸しました

十六番 貸したといふが、計
上の手續は何うなつてゐるか
番外(信原地方課長) 繼承した
ことになつてゐます

十六番 賣買であるか

番外(信原地方課長) 賣買では
ない無償貸與である

十六番 一人に對して貸し
たとすれば

番外(信原地方課長) 知事限り
で出来ることであるから差支な
いと信する

十六番 だんく株が減つ
て行くものと承知してよいか

番外(原信地方課長) 左様のこ
とはない御安心下さい

十六番 賣買は地方費に據
つてゐる一解釋してよいか

番外(信原地方課長) 左様であ
ります

十六番 再役は監査役に對
して株式の供託をしなければなら
ぬのであるがその株式は言はゞ身
元保證金の様なもの、何か會社に
對し賠償事件でも發生した場合に
處分さるべき性質のものでありま
した第三者から差押さへることも出
来る極めて不安心なもので地方費
の代表であるならば地方費代表の
肩書で再役になれるではないか、
何も賣つたり貸したりする必要は
あるまい

番外(信原地方課長) 請書を以
て充分に取締つてゐるから心配
はないと思ひます

十六番 九十五株は五千圓

に相當するが請書は五千圓に相當
する價值があるか

番外(信原地方課長) 請書の內
容を申上ります

一、株式配當は無條件で地方費に
寄附すること
一、必要により何時にても無條件
で名義書替をすること

一、何等かの理由により名義書替
不能の場合は九十五株を買收す
るに必要なる金額を賠償する事

十六番 何人の保證か

番外(信原地方課長) 岩井氏と
保證人と連署で差入である

十六番 十九圓圓の株式は何
程の財産を累積してゐるか

番外(信原地方課長) 株券で採
納したのであるから評議會にかけ
る必要はないと思ひます

自動車営業は

極めて危険な商賣

十六番 是れ他の公共團體に
ち府とか県組合とか商會、
とか云ふもの、
付の受入に付いては必ず之を受
すべきや否やに付いては會議を
いて

多數者の意見によつ

塗り替へ

たばかりで

て決定することになつて居ります
殊に内容の不安定であるものや若
くは義務の伴ふが如き客付の受入
に付いては餘程考慮を拂ふなけれ
ばなるまいと考へます。申すまへ
もありませんが自動車は極めて危
険な商賣でありまして間違へば何
人か殺すかも知れません、その
殺された相手の身分地位等の如何
によつては賠償額が

損害賠償

を問はねば

十六倍弱

を考へり

ならぬかも知れませんが現に私共も
自動車に營業した経験を持つて居
ります。或る敍生上りのお婆さん
を一人殺しまして何千圓かの損害
を訴へられ結局千圓取られたこと
があります。それが爲に自動車と
云ふものが恐ろしくなつて止めて
仕舞つたのであります。これは之等
の場合をも豫め考慮して居られ
るでありますやうか

番外(信原地方議長) 地方費令

細則により會議にかけず取扱つ
た、金額拂込であるから負擔義
務はない、傷害を與へても會社
が責任を負ふから地方費に關係
はない

で利益は一ヶ年六萬圓から八萬
圓をあげてゐる此利益からして
四十萬圓の償額ありとして地方
費は認め、尙發起設立である
から大邱地方法院の検査役選任
を求めて検査した

十六番

只今拂込額を八萬

番外(谷本議長) 地方費は四
十萬圓の償額あるものとして二
萬圓を拂込んだのであつて會社
の内容に於ては關知せぬ

一割二分の

配當は

不都合な行爲

十六番 自動車は一箇に於て
は損するが然し自動車は全部
消耗品でありますから會社の内容
が堅固にし地方費としても

危険防止

の立場から

先づ以て相當の償却金を要すると
考へる。商法の規定を見ま
しても損失の填補を爲すに非ざれ
ば利益の配當を爲すことを得ずと
ある、普通會社の決算は創立費及
償却金の如きが減法の所屬損失の
填補に該當するものと考へます
朝陽自動車會社は金力、

脊景とし

只今自動車

興社は權力を背景とし互に利益を配
つて居る二大社であります。其
の第一は自動車五十萬で四十一萬圓の
利益であり、第二は八十萬の外に大
邸宅に販賣所を持つて居てそれ
で拂込三十六萬圓の利益を擧げて居
るのではありません。其の第三は
到底其の及ぶ所ではありません。ま
んがその朝銀自動車會社の償却金
に付いて調べて見ますに、車体
一臺を千圓の価値あるものと假り
に算定し、残りの創立費、配利金の如
きは六ヶ年を以て

全部償却

することに

なつてゐる、かくしてこそ初めて
興社の基礎が安固なるを得ると思
ふ、總計には何人が出席して財産
權の行使をしたか、傳へ聞く所は
依れば興業自動車會社は今期一圓
二分の配當をする爲に二萬圓の借
入金をしたと云ふ事であり、其が
須藤前知事は會社の相當の償却を
して行く事が會社の堅實を計る所
以であるから八分以上の配當は絶
体にいけない、若しそれ以上の配
當をする様なならば席を付けて退席
せよと云ふことが谷君に命じたの
であるがそれにも拘らず會社が

一割二分

の配當を決

議したことは不都合である、然し
知事の承認を経なければ何時でも
右の決議は取消得るのであるから
今でも取消さぬことはないと云ふ
様な口吻を或人に洩らされたと云
ふ事を聞いて居る、洵に穩當なお
話であると思ふて居るのでありま
すが、然して左様なことがありまし
たか谷君に一寸御伺ひいたし。

番外(谷土木課長)

其の配當
が多過ぎるといふ話であるが併
し重役諸氏が満場一致で株主に
提案したのであるから黙許した
席を付けた云々は命令ではない
單に話であつて、其の間須藤知事
は此土地の者でないから谷君に
一任するといふお話であつたが
自分の一言で第一期の總算を破
るには忍びぬから遺憾の意を表
して承認した二萬圓の借入は配
當の爲の借入ではなかつた。

谷技師に

知事代理の

権限があるか

十六番 谷君が道地方費を代
表したと言ふことであります。道
道地方費令第一條

道地方費に關する事務は道知事
之を擔任す
第十九條 知事事故あるときは官等
の順序に従ひ事務及其職務を代

加す

第十六條 技師は官の命を受け
技術を司る

とあるが谷技師が知事を代理する
職能があるか

番外(信原地方課長) 知事の特
命を受け委任状を持参したので
あるから差支ない

十六番 地方課長は副知事か御
存じないと思へる、株式會社の委
任状は株主以外に無効ではある

番外(信原地方課長) それでも
有効であると思ふ

十六番 それでは暫く拜聴し
て置きます。此時今村議長は十分間
の休憩を宣す



伊藤議長

道會議雜記

▲**空合**は臺よりして今にも雪にな
りそうだが、**慶尙北道評議院**は
明るい▲**出席議員**三十五名、**蔚山**
の**許浪君**と、**安東**の**李智鎬君**が
總席の外幾んど全部の**出席**、中々
御勉強である▲**四五年前**迄は
をとつて冠か履いた議員が五六
人あつたが今日では古い風俗の額
髮朝服が五六人、日本服が三五
人、他は何れも背廣 モーニング
の洋服姿ばかり、文化は之れだけ
進んだ事が議院に現はれる▲**今村**
知事の議長振りは餘かなもの、流
石に政黨政治に鍊えられた閃きが
見える、腹量充分で議院の統率に
際が無い▲議第二日目(六日)

議に附してないのに得意で質問や
 ら意見か陳べる、御町騒様に之を
 通譯される、苟くも議員は多少し
 議事法を心得てもらひたい▲十八
 番(陽口)は議事進行に就て六番
 の股根を賣め日程に入らぬ前に質
 問や意見は無用、文相閣下の御
 見は御尤もだが議事が済んでか
 適當の時に協議するのが至當だと
 は流石に勅任議員のピカ一である
 ▲今村知事は早害民の窮狀は聞け
 ば聞くほど同情に堪へぬ、人衆が
 死線を越ゆるや否やは一大問題で
 ある、従つて同じに當るものは勿論
 總ての人々の力を合はせて救済に
 萬全を期したい道聲部のものも救

に伊藤氏は納得しない、然らば道の持株はダン／＼減つて行くものと見て差支無しやは瘡い處▲重役責任株は監査役に提供してある筈だが之は保證の意味も加はつてある損害があつたらどうするか、讀書を取つてあるから心配無いは少し心易立が過ぎる▲信原君、追及に堪へ兼ねて遂に讀書の内容を公開してしまつた▲其榮の設立後他に新線を許可した例もありや、其榮以外に新線を許可せずと云ふ特約があると云ふが事實如何と詰めるつた▲河野警察局長、調査は警察部長の扱ふものゝ地方費の關する處で無いから左様な特約がある筈が無い、其榮以外に新線の許可が無いとしても何等特約の事實を

午後一時三分開會、日程に入る前に、前提して三十三番（文明瑤）が一番槍の名乗りだ、曰く、關北の旱害の慘狀、曰く救済方法、曰く我々は證書を節約して粟のみ買つて罹災民を賑はしたい、▲才子文明瑤、人氣取の親玉、文明瑤君の基唱け御尤も千萬、善小なりとて爲ざら、莫れの格言がある、評議員が一日一圓宛節約しても十日間には一人十圓の節約が出来る、三十七議員で三百七十圓は集ると採算したのは文君邦々隣國で抜け目が無い、▲三番槍を、承はつたのが六番（義城金兼三）之に文昭和四年度歳入出豫算に就て意見と陳、勿論まだ日程に入らぬ、其案を一讀

する事にしてゐる、三十三番の
 御説は至極簡切と存じますから適
 當の時を選んで實現を期したいと
 熱情を露はして賛意を表した▲
 から日程に入る旨を宣し番外(堂
 本財務部長)から歳入豫算編成に
 就て懇切なる説明がある▲二十八
 番(池田)三十九番(杉原)十六
 番(伊藤)の三議員が先乗りを争
 ふ、十六番(伊藤吉三郎)が先聲
 を奮けて咳一咳、先づ其策自陳
 會社關係に就て質問の矢を放つ▲
 道地が費財有株四千二百株の内五
 十五株が不足してゐる理由如何の
 質問には信原地方課長が矢面に立

答式に納金物を繰廻けるに據りて行く△伊藤君の質問は追々鋭く其業の前身・東海、韓父の内容に及ぶや、營業權は公認のものから許可條件に反すれば假令百萬の資金を投じてあつても許可を得ずと河野部長は喝破する△東海韓父は解散に當つて重役の特別酬六萬圓を取得して會社はカラでありや△裁判所の監査を経て四十萬圓と鑑定したのに不思議はあるまいと谷君の防戦振り△本問題に關して參與の中の在來極が谷君一人、伊藤君は學務課長から地課に轉じた擧げの在來極、二人とも悪い錢を抽いたものであつた知事始め幹部は何れも所參、批あらば之が改めんりみの面持ち、伊藤君の太刀風は知事の面前に傲風ほどの揺ぎも無い△其業の第一割二分は伊藤知事上反對で谷君は其命を受け總監に臨むたの事實か△とは鳩座に觸れてる、谷君之を否定しない、遺囑の意を表して第一回總監が無事に済ませたと追々真相が明かになる谷君重たて自分は金銀を帯びて此決議に加つた、今更知事が其業第一回の決議を取消することは不可能である、徹する△持つてましたと計り伊藤君は道地方費令第九條の疑義を質し道地方費財產權の行使が谷君に出来るか△知事の持命を受け、不任狀を持つて谷が君臨むたのであるから徹利行使は差支無しと信原君の答辯△地方課長は附法を御存じ無しと見える株式會社の株主權行使は株主にあらざれば出来ぬ、それでも有効かとえぐる△此時三十分議長暫らく休憩を宜した

府協議會員の

四年制を熱望し

全鮮に魁けて運動か

【平壤】平壤府では府協議員の任期三年制を一年のぼして四年制とすべくすでに上司に内交渉をしてゐるが、松井府尹は府協議員の任期が短いので改選々々で府、議院兩者とも實に煩にたへぬばかりではなく、萬選したかと思へば三年でまた改選となる、漸く府政が判つていろ／＼の計畫をたてこれから實行といふ段取りまで進んで満期になるやうでは甚だ困る、そこで四年制にしたい考へで上司に伺つてゐるが、これは獨り平壤ばかりではない、各府同様だから或は全鮮の府に檄を發して一致の歩調で實現に努むるやうになるかも知れぬといつてゐる

氏はいよく組合の工事も一段落をつげ氏の就任目的が達成されたので近く勇退に決した模様でその時期は三月末乃至四月上旬に舉行される竣工式直後とみられてをり後任組合長については種々取沙汰され一時水口前副組長の就任説等があつたが、工事完成後の組合としてはかうした知事級の組合長を必要としないので結局理事制をとり經費の節減をはかるものとみられてゐる

道評議員解任

四、尙能准許曾か豫定へ返上案

贈したものであることか
 果^は然^に然^るが、

一營利會社の利益を擁護した
 かの國があり飽くまでも道の

はねとの理由を返上し、各議員が寄与協賛中

て、若しこうしたことが

論する必要がある。朝鮮にお

としての使命は重く大なるものである。

延長から紛糾した慶應の浦安分校は豫算返上案を可決し、

昭和四年度豫算並にこれに對する各語問案に對し、

議院に賛成した十四名の議員は、解任の認可を與へ解任を要す

いとするも、それだけで同問
題が凡て解決したと思つたら

内閣而化^{ちや}したことを忘れてはな
らない、大蔵九段評議會議議

の政治的訓練の上に再び取返しのつかない汚點を止めたこと

生田内務局長は須藤知事のとつた措置は適當と認める。一

つたことは、朝あさ總督しやうとく府ふ酒しゆ地ち職しやく意い條じょう十四じふしよにより

由の解除の認可を興へたが、これによつて職員の責任を

未嘗有の紛争を惹起した政治的責任は果して何れに歸着す

ふまでもない。我々等は生田内閣
務局長の言を何等の條件なし

として、の道義議會根本精神の

きのふの本會議で

三百八十頁の

道地方費豫算

僅か十五分間で議決

出席者三十五名、諸般の報告があつて議事諮問案第二號案より十一號案に對する報告を求めると第一委員長元田武雄氏は起つて

元田君 教育費、土木費、衛生費については各委員から熱心な質問があり之に對し道當局から御懇篤な説明があり内容が明かになつたので全部原案を承認して第二讀旨に移すべきものと

して可決した

部も全部原案を承認して第二讀會に移すべきものと可決したと報告し伊藤吉三郎氏は

伊藤君第一、第二部の委員

會の結果について各委員からたゞいまま御報告がありましたが無れも慎重審議したもので讀會を省略して可決したいと思ひますと讀會略の師議を提出するや關口、文相、琦田氏の賛成があり議長これを

起り動議成立、次で第二、第四から第八及び第十號から第十一號諸問案を一括して起立に問ふや全員起立して原案可決確定、次で第九號諸問案兒童獎學資金特別計歳入出決算及地方税徴收規則改正の件を議題に供するや關口氏讀會省略の動議を提出し、これまた動議成立し全員の賛成を得て原案通り可決確定した、かくて議案全部が原案通り一瀉千里に可決確定して議長休憩を宣す、時に一時三十五分この開會會後僅に十五分で三百八十萬圓の總決算その他を議決した

旨か述べ第二部委員は關口牛氏は土木、教育、衛生の議案を除いた爾餘の第二部委員會の經過につき

關口君 委員會におけ
詳細

な説明は避けるが、蔵入臨時第三
款の朝鐵その他からの不附金一
萬圓の内容並に、共榮自動車會
社より多額の寄附金のあつたこ
とは昨年道評議會決議の趣旨に
反するものであるから詳細説明
されたいとの質問があつたが、
道當局は公開の席上發表困難の
事情があるから御承を願ひた
いとの答辭があつた。結局第二

癩病患者

限地收容の建議

反對賛成兩派に分れて討議

一部修正で原案可決

午後一時三十分再會議長先づ崔錫煥君提案（賛成者十名）の纏拂
 申者限地收容の建議案を議院に供
 ず（建議案朗讀）提案者崔錫煥君
 簡單に提案理由を説明しこれに對
 中江君 崔議員は昨年熱心
 張されその後自發的に

丑山港の

築港

建議案を可決

牛車以上の賛成があるから速に御採決されたいと希望し中谷氏賛成者の一員として簡明に賛成意見を述べたいと簡明して賛成演説をなした讀省略満場一致可決確定した

建議案に上つた

共榮自動車

反對の意見も出る

撤回された自分は當時からいまだ反對意見を有して居る旅客を作ると却て癪病者が集まつて来る反對結果となるので地方費でなく國費として適當の場所を設けられたいと反對し鄭重氏建議案に賛し鄭君 癪病は地方病的で兩縣に多く約一萬の患者があり毎小増加しつゝあるから宜しく満場一致兩縣の同情を以て賛成されたいと述べ日浦氏は國費への簡明として賛成し李愚震氏また人道上から酒として賛成演説をなし中江氏の間に押問答があり更に崔氏、伊藤季薫氏の質問に答へる長財源について提案者について賛す所があり

崔君 國費を希望しますが若し國費が悪いとすれば地方費から支出されたいと答へると洪在淑氏は寧ろこれは建議案とせず十二三日において要請として提出したいと撤回を希望し崔氏建議案執つて譲らず李愚震氏提案を一修正して採決されたいと希望し江、洪兩氏もこれに賛し中谷氏た修正案を支持し議長讀省略を省

次で池田佐忠氏提案共榮自動車建議案を議題に供し建議案附議後にこれが提案理由を説明すべく池田君起立して共榮自動車會社設立の經過を述べ

池田君

朝鮮鐵道自動車會社の前身は自分が大正十一年に七萬五千圓で創立したものであるが、數年後には現在のやうに擴大の約四倍の三十萬圓となつて居るこの不況時に莫大な利益を擧げる自動車利益を二百三十萬の道民に頒ち、道路橋梁の維持費に充當したいものであると事業の有利から説き起し民衆の壓迫でないかと論じ内地における公共事業の大勢を論じ許可權についても警察部だけに止めず内務、財務とも協議の上決定されたいと述べ道地方費は僅二萬圓の出資で莫大の利益を受けて居るが利益の配當は年八分に止める必要があると論じ、その餘の利益は道地方費に使用すべきであるとなしこれが經營並に監督については宜しく道當局が善處されたいと希望し、に御諮りの上速かに

伊藤君

共榮自動車の事業が有利であるから本事業は永遠にこれを繼續して貰ひたいと云ふ様に拜聴しましたが時勢と時代の變遷に際してはいつ改革も必要とするかも知れず永遠に繼續すべしとする窮屈なことを決議する必要はない(以下次號)

池田君 朝鮮鐵道自動車會社の前身は自分が大正十一年に七萬五千圓で創立したものであるが、數年後には現在のやうに擴大の約四倍の三十萬圓となつて居るこの不況時に莫大な利益を擧げる自動車利益を二百三十萬の道民に頒ち、道路橋梁の維持費に充當したいものであると事業の有利から説き起し民衆の壓迫でないかと論じ内地における公共事業の大勢を論じ許可權についても警察部だけに止めず内務、財務とも協議の上決定されたいと述べ道地方費は僅二萬圓の出資で莫大の利益を受けて居るが利益の配當は年八分に止める必要があると論じ、その餘の利益は道地方費に使用すべきであるとなしこれが經營並に監督については宜しく道當局が善處されたいと希望し、に御諮りの上速かに

自動車問題建議案で

兩雄の一騎討ち

伊藤議員と關口議員

慶北道評議會

民報

3. 13

自動車問題では必ず何等かの波瀾がいま一昨繰返されるものと何人もが豫想して居たが、果然池田作助氏を先頭に起て、第六日（十一日）の議場に建議案が提出された、だれ氣味の議場は漸かに極度の緊張が來し、池田氏の提案理由の説明は大した反響を議場に喚起しなかつたが、地路雖然たる伊藤吉氏の反對論と關口老の賛成論は第十回評議會の華として議場を轟然させたが、その討論の跡を振り返つて見ると一は堂々たる政治論であり一は法律論を眞向から振擧げた議論で大向ふの喝采を博した、次で醫學專門學校の建議案を續場一致可決し午後四時五十分無事閉會した

理想は自由營業

建議案提出の必要なし

と云ふ意味で反對する

伊藤吉三郎君の長講

池田安忠氏の建議案の提案理由の
説明に對して伊藤吉三郎氏は大要
次の如く反對論を試みた

二十八番から建議理由の詳細の
御説明がありました。が要は其策
の業績の良好なるに鑑み永遠に
本事業は繼續して行きたいと云
ふ結論である様であります。が、
永遠と云ふことは永久無限と云
ふことにも解釋が出来ますが時
勢の變化と情勢によりましては
何時變改を加へねばならぬかも
知れない。而も今何人も此事業
を止めやうと云ふ様な意見を持
出して居るものも無く現に着々
仕事をやつて居るものを今更永
遠無限に繼續して行かうと云ふ
やうな窮乏な決議をして置く必
要がどこにあるかは私には判り
兼ねますが、按ずるに本案が提
出されました動機は私の過日の
第一讀覧に於ける質問に因を發
して居ることは推知するに難く
ないのであります。依つて私は
少しく私の所信を申述べて本案
に對する私の賛否を表明いたし
たいと存じます

本日は過日第一讀覧に於てなした
質問は決して破壊を目的として
の質問ではない、假に破壊的言辭

があつたとしてもそれは建設の前
の破壊であつて決して破壊のため
の破壊ではないのであります。私
は前任者が道路修築費維持基金
の目的のために計畫したされた
自動車の問題については幾多

○ 弊害 の事實がある、

即ち極端なる民衆壓迫の事實、若
くは新線に對する特權認可の事實
に對して之れが如何に人心に反響
するか考へたのであります。假
令目的は至純であると致しまして
も斯の如き手段に訴へてまでも地
が豊財源を作ると云ふことが果し
て善良なる風俗を維持し社會の秩
序を保つ所以でありますやうか、風
紀の維持や綱紀の肅正は先づ以て
爲政者が範を垂るべきものである
と私は深く感じたのであります。
幸に新線開下は「嚴正に公平
に道民の幸福の爲に盡す」と云ふ
お言葉でありますので今後再び民
衆壓迫が繰返され、若くは新線に

する特權が認めらるゝやうなこ
明る い政治が行はれ
無く極めて

社へず或種の不安を感じて居る共
丸一以外の他の自動車業者
大に安んじて營業し得ることに
あります、二十八番は民衆の
あります、二十番は民衆の
あります、又或社に特權を附與
したやうな形跡も確にあるのであ
ります、然し一丸とすする自動車政
策の確立を見るならば、恐らくそ
れについての異論者はあるまいと
思ふのであります、然しこの場合私
の理想論から申しますと國家
の利益本位ではいけない、どこま
でも交通政策或は社會政策的見地
から民衆の利便と云ふことに基礎
を置くなければいけないと思つて
居ります、苟くも公共機關が財源
を作るために儲け本位にやると云
ふことは面白くないと思ふのであ
ります

満腔の信任を 知事に捧げやう

は一番好都合のやうに思はれます
これは私の理想論でありますが見
角地方費と致しましては前任者
が變休ながらも共榮自動車會社と
云ふものをこしらへ多少の財源を
も得て居ることありますから、
これを破壊することは穩當で無い
折角出来た以上にはこれも長養し
て行くがよからうと思ひます、同
時に完全体をつて一丸と爲し得
るならば禍根を永久に絶つ所以か
らなると思ふのであります、私の
聞く所によりますと半期に十幾
圓の配當をした會社もあつたと云
ふ事てありますが、元來斯く如く
自動車に儲けると云ふことは一面
に道路專有の特權があるからであ
ります、然し參與の御説中にも
ありました如く鐵道網の不完全な
る朝飯の現状に於ては自動車は重
要なる交通の任務に服して居る課
でありますから、或程度の保護を
加へて行くことも亦必要の事と存
じます、故に今直に自由營業主義
に進むことは出来ずまいが非常
に儲かる線に向つては二線でも三
線でも許可をし、儲からぬ線に向
つては

細民

保護を加へて行く
やうにすることが一般民衆の爲に

下は、幸に「公正に公平に道政の幸福の爲に盡す」と云ふ極めて有難い言葉でありましたので、私は満腔の信任を捧げて閣下の御裁量に御任せ申したいと存じます

前言訂正

尚この機会に於て私は私の前日申述べました言葉の中で間違のあつた點を訂正して置きたいと存じます、私は中谷君が満場一致云々と言はれることは耳障りである云ふことを申しました、が會議録の上では確かに満場一致と云ふことになつて居りますつまり二萬圓の道路橋梁維持基金造成の豫算を委員會で承認しこれが今日の様な形に於て委員長長の報告に依つて議會省略で決定されましたので、私としては殊に會議録の署名人でもあり甚だ輕率であつたことを中谷君その他に對して陳謝し謹で訂正をいたして置きます、不愚御諒承を願ひたいと存じます、然し其當時私が反對意見を持つて居つたことは谷君がよく御承知の筈で其他にも反對意見の方もありましたが豫算を決定して彼等は言つて見てもつまらぬではないかと云はれてそのまゝ黙つて居つたと云ふ人もありますので精神的には決して満場一致でなかつた事は事實であります、中谷氏に對して重ねて深く御了承を御願ひたして置きます、要するに本案は今建議案を出してまでも決議をしなければならぬ必要を認めませぬ、事柄自体に反對する譯では無いが建議案提出の必要なしと云ふ意味に於て反對いたします

威力

が加はつてはいないと思ふのであります、要するに私は或種の特權が認められ或種の威力が行はれた事實に對して道政改革の爲に新聞閣下の御が針を伺つたまでであつて決して破壊論を主張した譯ではない、只疑義の存する所之を明かにすると云ふことは公人としての當然の職務であると思つて質問したに過ぎないのであります、然るに新聞閣下

道評議會の權威の爲に

建議案に賛成する

開口翁の意見

伊藤議員この反對意見に對し開口氏は賛成演説を試みるべく議長を呼び
開口君 私は賛成者の一員として演説の題目と權威の爲に一言申述べたい、二萬圓の豫算が昨年の委員會、本會議の満場一致で通過したことはいま伊藤君の云つた通りで既に前説を取消されて中谷氏に陳謝されましたので敢て追窮しませんが先日の委員會の席上菊山内務部長は其賛成自勵の將來は多岐協議の意見によつて善所すると述べられたが多岐でなく全會一致の希望だと御承知願ひたい、苟くも道評議員としてその任

み盡す處には昨年の會議で満場一致の下に可決したものに對して反對すると云ふことは許されないことである、そこに重なる理由が突發すれば別であるがたゞ漫然と反對されることは甚だ解嘲に苦しむ次第で豫算案通過の當時と今日とは根本趣旨において何等變りない、九千圓の豫算の如きは二萬圓の出資に對し年に引直せば一萬八千圓即ち九割の配當で十年には十八萬圓となり年々要請される道路橋梁は歳目を一新することは云ふまでもないこの結果は立派に決意の趣旨に添ふて居るもので何等反對すべき理由を見出すことが出来ない、強て云へば道の戦部

建議案通過

反對者僅に二名

が變つたわけである、内務部長は空氣の動きを以て云々と云はれたが伊藤君以外に反對者は一人もない、伊藤君が反對意見として色々述べられた理由即ち綱領の修正等の抽象論には毫も耳を借す必要がない、われ等の心は動かないので今更考へる必要はない、民業壓迫にしても自動車營業を一方に許可して一方に許可しなければ許されないもの

は民業壓迫と云ふ、小さい問題では湯屋、鐵工所等がそれ、適当な地方費の會社であるが故にそう考へられるまでのことである、金道を打つて一丸とした自動車營業は賛成だが道知事の職限としては許されないのでは、法令の改正を前提條件とする、要するに道評議會の權威を保持する上からも伊藤君の説に賛成し兼ねることを申上げて本建議案に賛成するものである

お願ひして置く、満ち一致と云ふことは既に聲明したから再びこゝに聲明しないが閉會の直後議場がザワついたと云ふことは當時の新聞記事に見ても明かである、次に民業壓迫については一方に許可し一方に許可しないといふやうな問題とは本質において異つた問題で、新線の許可しめることが民業の壓迫である、と云ふことを御承知ありたい、本員は別に議論を傾けて討論したくないが議論の論據は明かにして置きたい、池田氏は本員が「自動車は時代遅れ」と云つたやうに云はれたが道路に牆をするといふ上申上げる必要もない、動議に反對したのは事体そのものに反對はなく共榮を育て行くことに異論はないが永遠に存続すると云ふ様な窮屈な建議案を必要としなかつたまでのことよく御諒承を願ひたい

次いで池田君再び發言を求め

池田君 自動車は時代遅れと伊藤君は云はれたが内地の都市では民業と競争し難いので達した今日でも決して時代遅れとは思はぬ、僅かの民業者のために二百三十萬民衆の民意を無視することは出来ない、自分は郡民八萬の民意を代表して居ると主張の合はない遊藝を試みれば伊藤吉三郎君議長を呼んで悠々と

伊藤君 本員の意見を大層聞違つて聞かれて居るやうであるがこれに對して一々反駁することは時間が許さないから最も重要な二三の論點について釋明をする、本員は決して共榮自動車車を止めてしまへとは云つて居ない、折角前任者が作つたもので多少でも地方費が財源を得て居る以上これを長養し完全な發達を遂げしめたいと述べ居る筈である、間違ひのないやうに

と敵の急所を突いて行く所議場の雄であり稀に見る論客として頭の良い所を遺憾なく發揮し議場は開會以來緊張の最高潮に達したかの感がある、かくて議會省略、採決に入り賛否を起立に問ふと七名を賛した外は全部起立（賛成）建議案は絶對多數で通過した

醫專設置要望

満場一致で可決

次で提案者伊藤吉三郎、徐内朝、
氏、賛成者二十六氏の

慶尚北道に醫學專門
學校を設置方要望の
件

を議題に供し提案理由を説明すべ

伊藤君 本案は多年の懸案

で理由は極めて明々白々であ
から省略する、只われ／＼は
腔の誠意と熱心を有して居る
とを附け加へて満場の御賛同
願ひたいと思ひます

と簡明直截に賛同を求めると

日浦君 本員は賛成者の一

員であるが右要望に「醫學講習
所の卒業生に無試験で開業醫の
免許を附與するの件」を追加し
たい

と修正案を提出する、議長提案者
にこれを諮れば伊藤議員同問題に
對する警察部長の態度を聞く

河野番外 本府に交渉中

であるが困難な模様で確かな所
は判つて居ない

と答へる、かくて中江氏原案に賛

し修正案の切放しを希望し關口氏

又これを支持したので伊藤氏から

日浦氏に切放しを交渉し日浦氏修

正案を撤回する、次で李恩震氏の

助議で續省略、満場一致で要望

案を可決し午後四時五十分散會

聲明書自發表

東萊溫泉に會合し

十四名連名の上

無定見、無方針と痛罵して四年度
地方費豫算案の返は敢てした慶
南評議員十四名が諮問拒否、當
局不信任の理由によつて解免とな
つたは既報の如くであるが被免
は十一日夜東萊溫泉に會合して
論議をした末十二日左の如き長文
の聲明書を被免議員等の名を連ね
て發表した(釜山)

聲明書

今般慶尚南道々評議會に於て豫
算返上動議に賛成したとの理由
に基き下名等の十四人は本月九
日附を以て解免せられた事茲に
至りたる以上は我等の眞意並に
其の願を表明し二百萬の道民
に訴ふる必要を感じた吾等如何
に無智とは言へ今南評議會の地
方自治制に基く決議機關にして
評議員の職能も自ら限度ある
ことは充分に承知し決して誤權
の行動を好むものに非ざるなり
然れども與下朝鮮にありては所
有の運の礎なりたり所有文化の源
泉たる教育施設を故意的に遅延
し而も爲政者の公約たる昭和六
年度迄の一面一校完成聲明の取
消問題に對しては二百萬道民の
總意を忠實に表現すべき責任上
到底黙過すること能はざるのみ
ならず道徳上斯る惡例を防ぐ爲
極力消當局の反省を促したるに
以て反駁するの餘地なきまでの理
由を徹底せず言を左右に託し高
傲的態度を以てあく迄年度繰延
固執するに付き吾等も斷然所
に向ひ進退するの餘儀なきに
たり然るに今道當局より發表
たる吾等解免の理由を見るに
此の事あるを察知し同志を糾
して結束を固め組織的に議場
を亂せしめむことを企圖せり
れ吾等を誣ふるも甚しきも
り議案も提出せず豫算編
要の説明もなき以前に於て
如何に之れを察知し得べき
に事前には知り得たり
れば之は道當局より事前に

於て之れを漏洩し以て我等に挑
戰したるものと解釋するの外な
し吾等は山下地方課長の説明を
聞き始めて之れを知り公々然と
善後策を演説したるは事實なる
も如何なる問題に對しては眞實
の偏執を避け多數の意見を綜合
するが如きは寧ろ當然に非ずや
之を以つて組織的に議場の混
亂を企圖せりと誣ふるは諮問機
關議員たる有は偶語の自由たも
も許さずとの意味にして吾等は
只吃驚するの外なし次に豫算返
上の決議は知事の諮問に應ぜざ
る意思表示にして知事の諮問に
應ぜしむる爲任命したる道評議
會員が知事の諮問に應ぜざる意
思を明示したる以上其の儘職に
たりと斯る聲明も道當局の主觀
的認定にして之又吾等の意を誣
ふるものなり何となれば吾等既
に現制度に依る諮問機關に參與
したる以上其の職責たる審議
を拒む言なく且第一號豫算案の
返上決議は審議を拒否したるに
非ずして道教育方針を立直し再
上決議に於ても他の諮問案に對
し審議を繼續したる事實あれば
なり然るに議長は自らの解釋を
以て不信任なりとか諮問拒絶な
りとかの判斷を下し突然審議中
の諸案を撤回したるに拘らず其
の責任を吾等に轉嫁する如きは
果して一消長官の公正なる態度
と云ひ得べきや要するに吾等を
道政の圈外に驅逐せんが爲め制
度の缺陷を楯とし事實にあらず
なる理由を強ひて附會したるに外
方費令第十四條を吾等の行動に
適用したるが如きは以上の事實
に徴し専ら感情に出てたる不當
の處置と云はざる可らず
然れども我等は解免せられたる
を毫も遺憾とせざるのみか寧ろ
制度缺陷の犠牲として大に覺悟
する所あり但我が子弟の教育施
設は二百萬道民の努力に俟つの
み

昭和四年三月十一日
慶尚南道被解免道評議員
鄭震基外十三名

某消息通語る
立場を失ふ者があらう

全部とは言はないがこの聲明は
牽強附會の點が多いかゝる聲明
がの少くとも事情にうとい一部
人々に信ぜらるるに到ることは
慶南道當局に取つて氣の毒なこ
とであるかゝる聲明をなし一人
肩相を公表されたら全く立場を
失ふ評議員を生ずることを私は
知つてゐる、聲明書中結束して
事をかまへた、事實なしと強辯
してゐるが結果の事實は十分ある
しこれに對しては事實を指摘す
ることも出来る、又豫算返上の
決議が豫算審議を拒否したもの
でないといふ解釋はどうしても
生れない、假りに評議員が言ふ
如く豫算案の返上が道の考慮を
促し、道をして教育方針を樹立
さしめ再諮問を要望したものと
しても問題の一面一校は道の豫
算とは全然無關係なことである
その關係のないものに對し道豫
算の編成等を要するが如きこ
とは評議員の要求が餘りにも當
軌を逸してゐると斷ぜざるを得
ない、何れにしてもこの聲明書
は事後の結果に鑑み極めてな
のと見るより外ない

東萊溫泉に會合し

十四名連名の上

無定見、無方針と痛罵して四年度
地方費豫算案の返答を敢てした
豫算評議員十四名が諮問拒否、當
局不信任の理由によつて解免とな
つたは既報の如くであるが被免議
員は十一日夜東萊溫泉に會合して
論議をした末十二日左の如き長文
の聲明書を被免議員等の名を連ね
て發表した(釜山)

聲明書

今般慶尙南道々評議會に於て豫
算返上動議に賛成したとの理由
に基き下名等の十四人は本月九
日附を以て解免せられた事茲に
至りたる以上は我等の眞意並に
其の顛末を表明し二百萬の道民
に訴ふる必要を感じた吾等如何
に無智とは言へ今當評議會の地
方自治制に基く決議機關にして
評議員の職能も自ら限度ある
ことは充分に承知し決して誤解
の行動を好むものに非ざるなり
然れども現下朝鮮にありては所
有の運の礙たり所有文化の源
泉たる教育施設を故意的に遅延
し而も爲政者の公約たる昭和六
年度迄の一面一校完成聲明の取
消問題に對しては二百萬道民の
總意を忠實に表現すべき責任上
到底黙過すること能はざるのみ
ならず道徳上斯る惡例を防ぐ爲
極力消當局の反省を促したるに
開會以來消當局は吾等に對し到
底反駁するの餘地なきまでの理
由を徹底せず言を左右に託し局
壓的態度を以てあく迄年度繰延
を固執するに付き吾等も斷然所
信に向ひ邁進するの餘儀なきに
至れり然るに今道當局より發表
したる吾等解免の理由を見るに
曰く一部評議員に於ては事前
豫め此事あるを察知し同志を糾
合して結束を固め組織的に議場
を混亂せしめむことを企圖せり
と之れ吾等を誣ふるも甚しきも
のなり議案も提出せず豫算編
成概要の説明もなき以前に於て
吾等如何に之れを察知し得べき
か假りに事前に於て知り得たり
とすれば之は道當局より事前に

於て之れを漏洩し以て我等に挑
戰したるものと解釋するの外な
し吾等は山下地方課長の説明を
聞き始めて之れを知り公々然と
善後策を演説したるは事實なる
も如何なる問題に對しても個見
の偏執を避け多數の意見を綜合
するが如きは寧ろ當然に非ずや
之を以つて組織的に議場の混
亂を企圖せりと誣ふるは諮問機
關議員たる者は偶語の自由たも
も許さずとの意味にして吾等は
只吃驚するの外なし次に豫算返
上の決議は知事の諮問に應ぜざ
る意思表示にして知事の諮問に
應ぜしむる爲任命したる道評議
會員が知事の諮問に應ぜざる意
思を明示したる以上其の儘職に
在らしむること能はずして解職し
たりと斯る聲明も道當局の主觀
的認定にして之又吾等の意を誣
ふるものなり何となれば吾等既
に現制度に依る諮問機關に參與
したる以上其の職責たる審議
を拒むべき且第一號豫算案の
返上決議は審議を拒否したるに
非ずして道教育方針を立直し再
諮問を要求したるに過ぎず尙返
上決議に於ても他の諮問案に對
し審議を繼續したる事實あれば
なり然るに議長は自らの解釋を
以て不信任なりとか諮問拒絶な
りとかの判斷を下し突然審議中
の諸案を撤回したるに拘らず其
の責任を吾等に轉嫁する如きは
果して一道長官の公正なる態度
と云ひ得べきや要するに吾等
道政の圈外に驅逐せんが爲め制
度の缺陷を稱とし事實にあらざ
る理由を強ひて附會したるに外
ならずと斷言するなり故に道地
方費令第十四條を吾等の行動に
適用したるが如きは以上の事實
に徴し専ら感情に出てたる不當
の處置と云はざる可らず
然れども我等は解免せられたる
を毫も遺憾とせざるのみか寧ろ
制度缺陷の犠牲として大に覺悟
する所あり但我が子弟の教育施
設は二百萬道民の努力に俟つの
み

某消息通語る

右解免道評議員の聲明書を見て某
消息通は左の如く誤を指摘してゐ
る
全部とは言はないがこの聲明は
牽強附會の點が多いかゝる聲明
がの少くとも事情にうとい一部
人々に信ぜらるるに到ることは
慶南道當局に取つて氣の毒なこ
とであるかゝる聲明をなし一人
よがりと言つてゐるが若し事の
真相を公表されたら全く立場を
失ふ評議員を生ずることを私は
知つてゐる、聲明書中結束して
事をかまへた、事實なしと強辯
てゐるが結果の事實は十分ある
しこれに對しては事實を指摘す
ることも出来る、又豫算返上の
決議が豫算審議を拒否したもの
でないといふ解釋はどうしても
生れない、假りに評議員が言ふ
如く豫算案の返上が道の考慮を
促し、道を以て教育方針を樹立
さしめ再諮問を要望したものとし
ても問題の一面一校は道の豫
算とは全然無關係なことである
その關係のないものに對し道豫
算の編成を要するが如きこと
とは評議員の要求が餘りにも常
軌を逸してゐると斷ぜざるを得
ない、何れにしてもこの聲明書
は事後の結果に鑑み極めてなま
のと見るより外ない

昭和四年三月十一日
慶尙南道被解免道評議員
鄭震基外十三名

普通學校校長に

鮮人を登用せよ

お土産案ににぎはふた

民 4.3.14 十二日午後の 慶北道評議會

十二日(第七日)午後二時五十五分議長三度開會を宣し、張繼各議員は次の如く意見の陳述をした

吳熙台氏(英陽) 道または

郡が主体となつて旱害による貧民の救済會を組織し同時に普通學校の授業料を半減または全免したいと説き進んで普通學校校長に鮮人数員を任命の件、安東高普、盈徳、英陽間道路速成を希望する

金秉圭氏(義城) 教育問題

生蘭自由販賣、堆肥の奨励、副業問題、區長の有給制、義政の旱害救済、安溪、善山、多仁洛東間、義城、軍威間等の道路改修、丹密面砂防工事等につき長廣舌を振ひ

小口肇、中江五郎平、元田武雄の三氏は沈黙して起たず

李潤大氏(奉化) 普通學校

授業料の免除、安東普通學校の設立から轉じて乃、安東間道路の速成及び乃、邑内の排水並に護岸工事、砂防工事その他につき微に入り細に亘り熱心に捲し立てると

鄭東深氏(議事進行) 希望し議長、個々の小問題は書類へ提出された

李宜鎬氏(安東) 安東高等普通學校設立につき安、郡外六郡の聯合で現金十七萬圓とその他、附の申込が多々あることを述べて速成を希望し、旱害救済資金、旱害罹災民子弟の授業料免除を希望す

由良乙次郎氏は起たず權利を放棄し

奥野源治郎氏(漆谷) 若

木水利組その他について旱害救済の意味、一日も早く認可されたいと詳述し、更に輿論に自動車問題について民衆の追迫の事實を述べた

日浦廣治君(永川) 従来地

附加税に對しては正確を欠くものあり現在村經濟の實際に鑑み公正に對當て頂きたい、次に

本道總紙の原料は年額四十五萬圓を突破し臨北主物産の一であり毎、格の植栽数は百萬本を超過せんとする現状にあるが、これらの總ては在來種のみである、何とかして内地種の移植を奨励して頂きたい、尙永川郡安康には穀物栽培が無く一般農民は非常に不便を感じてゐる、これも米年度に於て是非實現させて頂きたい

崔錫煥君(慶州) 本道に於ける一二等道路は當局の盡力により遺憾なきまでに完成をみる

に至つたが續つて現在、等外道路状態はと云ふに全く顧みられざる状態である農村開發の重大使命を有する等外道路を今少し改良して頂きたい近時利邑を通じて入學難の聲を聞くが當慶山もその例に漏れない、慶山は慶北に於ける農業の中心地であるから是非とも農業學校の建設が必要であり教育期成會の手によつて既に四五萬圓の基金が出来てゐるから何とか考慮願ひたい又黨共同販賣所の設置も必要である

伊藤吉三郎君(大邱) ありません
鄭雲外君(高靈) ありません
臨口牛君(大邱) 意見なし

斷髮令を出せ

ちよん鬚は時代錯誤

沈相光君（留松）本郡は六萬の人口を有し米穀年收は一萬石を突破し且其他煙草、養蠶等の副産物も非常に豊富であるが交通不便のため他郡に比して非常に文化が遅れて居る、農村開墾のため是非とも道路網の完成を願ひたい——又本郡には未だにチヨン鬚を纏んで居る者が多いが、これは時代錯誤も甚だしいと思ふ（一同哄笑）それ

で一部の反對はあつても断髮令若くは總督府令として断髮令を出して貰ひたいと思ふ、又總督府の普通教育擴張案には吾々一同感謝してゐるが朝鮮人子弟の教育には是非とも鮮人校員の採用をお願ひする、次に郡守更迭の際は其の地方に無籍のない者を配置して貰きたい（一同拍手）時に午後四時四十五分、議長閉會を宣す

解免議員

聲明書發表

道内有志及び

新聞通信社へ

先般の道評議會で普通學校費問題で豫算返上の舉に出でた結果道當て議案を凝らした結果、聲明書を各新聞社並びに道内有志の下に配布する事にした模様である

道民に

事情を釋明

道評議員解免

ハンフレット配布

須藤本道知事は先般道評議會を開會し且つ豫算案に反對した議員十四名を解免した件に關し別項の如く議員側でも聲明書を發表せる様である、且つ一面には知事當然の措置として此の際道民に對し事情を釋明し置く必要ありとの見地からハンフレット三萬を印刷して配布すべく目下文案起草中にあるか一兩月中に之を終了して直ちに印刷に附し茲四五日中に配布の運びに至らしい

慶南道評議員問題

遂に議會に提出さる

水

民政黨質問趣意書を提出す

【東京發電】朝鮮慶南道評議員解任問題につき民政黨は朝鮮に將來自治を許すか又は内地延長主義をとるかの施政の根本方針に關する重大問題なりとして重視し十五日山道襄一氏の名をもつて大要左の如き質問趣意書を提出した

朝鮮慶南道評議員朝鮮人十四名解免理由は本年度慶南道豫算返附動議に賛成したと並にこの動議に豫め同志を糾合し議場を混亂に陥らす計畫をなしたと云ふにあるが道評議會はその設立趣旨が朝鮮統治の根本に關係することをもつて斯る場合は再議に附す

るか或ひは更に臨時評議會を召集してその議事をすゝめめるかの二者一をとり尙ほ肯ぜぬ場合朝鮮地方費令第十四條を適用して解免するが妥當である現に昨年忠清南道に於て豫算の一部を否決した場合に臨時評議會を召集し圓滿解決をみた先例あるに拘らず今回突如解免の發令をなすが如き朝鮮統治上至大なる惡影響を及ぼすものであり或ひはこれが導火線となり全朝鮮に亘り重大なる事變を起すこと萬一にもありとせば總督府の重大責任なるのみならず朝鮮統治上容易ならざるものあり總督府はこれが善後の方法を探らねばならぬ政府の所見如何

4. 3. 17

P

まだ其時期でない

3.25

司法官優遇は漸次行ふ

建白及質問に對する政府の答辯

【東京電話】民政黨の牧山耕蔵君等はさきに朝鮮國民協會の参政權附與に關する建白書に關する質問書並に朝鮮における司法官の待遇に關する質問書を衆議院に提出したが二十五日田中首相から左の如き答辯書を提出した

朝鮮國民協會の参政權附與に關する建白書に關する質問に對する答辯書

朝鮮においては今なほ完全なる地方自治制の確立を見るに至らず、自治的訓練においても缺くるところ少なからざるなど諸般の實情にかんがみ今直に衆議院議員選舉法を施行するのは時期に達せざるものと認む

右答辯に及び候也

朝鮮における司法官の待遇に關する質問に對する答辯書

朝鮮における司法關係職員は大正十三年末の行政整理の際他の部門同様相當減員せられたるがその以後における取扱件數の増加に對しては關係職員の負擔輕減につき毎年考慮するところあり行、財整理後昭和四年度までの増員は判、檢事勅任六人、奏任十八人、書記三十一人を算す朝鮮において職員事務負擔割合が内地より大なるは獨り司法關係のみに非ず殆んどすべての部門にわたる狀況なれば今日直ちに司法職員のみ内地を標準として増員するが如きは困難なり朝鮮における内地人奏任判、檢事の平均俸給は三千百圓（加俸を含み四千三百四十圓）にして内地における奏任判、檢事平均俸給は三千百二十圓なれば今日俸給定率増額は必要なきものと認む、但し判任官など比較

的下級吏員の待遇改善は漸を遂うて實現を期する方針のもとにこれが所要の經費の一部は昭和四年度豫算に計上せり、地方法院長および檢事正の勅任昇格については法院所在地取扱件數など各般の事情を斟酌し必要と認むる範圍においてこれが實現を期すことにし所要經費は昭和四年度豫算に計上せり

右答辯に及び候也

四月一日より着手し私設、共用、専用の各機千五百にわたるもので計器器は大阪の旭式で經費一萬八千圓取付費用一萬二千餘圓の見込である、五月末までには完了するのでその際には約三割方の節水が出来るので節水の愛目をのがれることが出来るわけである、六月一日より使用料を改正し減額する豫定である

P.

植民地扱に反対し

朝鮮 内鮮融和を至難と見る

有力者の方針に變化を來さんとし
大 總督府はこの點を非常に注視す

4. 4. 20

【京城】拓殖省設置反對に敢然起つた國民協會および同民會は更に同志を糾合してあくまで目的の貫徹を圖らんと朝鮮貴族院および中樞院議員方面に對して勸説を開始したこれに對し兩團體でも内心共鳴はしてあるものゝ四圍の輿情から表面に立つことを差し控へ傍觀的態度を執つて自重してゐる、これ等内鮮融和團體は今日まで反内鮮融和派からの壓迫を忍んで内

甲子クラブも

反對に決し

中央要路に對して
反對決議文を打電

【京城】拓殖省問題についてつとめて自重の態度をとつてゐた甲子クラブでは事ここに至つては沈黙すべきにあらずとして十八日幹事會を開議の結果拓殖省の設置には内、鮮人一致して反對することを協議したクラブでは二十日京城商業會議所で緊急總會開催の上反對の決議を中央要路に打電した

拓殖省設置は

政府の方針

我輩は知らぬ
總督言ひきる

【京城】拓殖省問題が内鮮融和の間に俄然沸騰し事態は甚だ憂慮すべきこととなつたが、この問題について朝鮮總督としての意見を求むべく山梨總督を訪ねたが拓殖省問題については面會の要なしと拒絶し長谷川御用掛を通じて「拓殖省の設置は中央政府の案で俺がこれこれいへるもんでない」と體よくいひのけた

有力者が提携し

大々的に反対

拓殖省新設問題につき 甲子俱樂部の態度決る

4. 4. 21

【京城】拓殖省反対はいまや全鮮的の聲となつて各方面に非常な衝動を興へつゝある、問題勃發以來敢然として反対を表明した同民會、續いて起つた國民協會さらに甲子俱樂部の三團體は近く聯合總會を開催してあくまで反対の氣勢をあげることにまつた

と認め絶対反対す

加盟勧誘を

拒絶す

朝鮮貴族會は
自重にきまる

拓殖省問題の

打合を行ふ

儒林團幹部が

【京城】朝鮮貴族會では十九日午後三時半から京城貴族會で臨時總會を開催、出席貴族朴汝孝侯外十氏で本年度豫算ならびに前年度決算を可決した後國民協會、同民會、甲子俱樂部からの拓殖省設置反対と認め絶対反対す

【京城】中樞院議員が組織する朝鮮儒林團の大聖院では二十日正午から都京洞本部において幹部會を開催し、總務部長金彰漢氏外十三名會同、拓殖省問題につき打合せを行つた

これよりさき内鮮有力者をもつて組織せる唯一の政治團體甲子俱樂部では二十日午前十時半京城社會館で緊急總會を開催、出席者渡邊商業會議所會頭、全國民協會々長、同民會々長ら二十五名、鈴木氏議長席に着き開會を宣す、問題が問題だけに議論は極度に緊張した、野田池田、渡邊兩氏の同民會脱退者の態度を遺憾とし、これが脱退理由をもとめこの運動に相提並べんことをのべたるに對し同民會更な事情をのべ、舌鋒鋭く反対理由を述べて満國を屈辱させ、最後に内地人の朝鮮人差別待遇の實例をあげて内地人出席者の膽を冷してこれにこたへ、續いて高橋氏は同民會脱退者の心情に同情を表し、最後に甲子俱樂部、國民協會と一致して運動をとみにせんことを提議し、満場異議なく賛成、かくて渡邊氏の提案で決議文を作成、直にこれを内閣總理大臣、樞密院議長に通達することに可決して正午すぎ散會した

決議

朝鮮を拓殖省の所管に屬せしむるは内地延長主義に反するもの

思想問題取締の

報告詳細をきはめ

大 勢頭から異常に緊張す

各道警察部長會議ひらかる

一日を終つた

總督の訓示

輓近世相ますく複雑に超き事務多岐に涉り警察力の充實を要するや切なり、一般思潮の趨向を察するに在來の不穩思想は輓近勃興せる思想運動と合流し稍もすれば施政に反抗的氣勢を誘發せんとしつゝあり、境界の匪賊は僅かに餘喘を保つに過ぎざるも何時鮮内に潛入して不測の事態を惹起するやも測り難く、各位は部下を督勵し思想の善導治安の維持に細心の努力を拂はんことを期すべし、また出版物はますくその數を増し社會組織を動搖せんとするもの、統治の根幹を危うせんとするもの相當多數に上り、これが取締りに關し萬遺憾なきを期するべし

【京城】道知事會議の後を受けて警察部長會議は十三日から左の日程により總督府第一會議室で淺利警察局長統裁のもとに開催された十三日總督訓示、檢事長訓示、警務局長訓示、管内状況報告、十四日指示注意事項、諮問事項、十五日各局部署意見、道意見および希望事項、十六日事務打合せ

會議初日十三日は午前九時から開始、勢頭山梨總督府別項の訓示あり終つて中村檢事長の訓示に續いて淺利警察局長の講演があつて午前の日程を終へ、午後一時から各道の管内状況報告が行はれた殊に昨年中全鮮各道で數次檢舉された某重大事件は朝鮮治安上の大問題であるところから各警察部長の報告もこれに關しては特に説明詳細を極め各自得たところの知識を交換するに努めた、勢頭田中京畿道警察部長は昨年度中に數次にわたつて檢舉した某結社の重大事件に關し發覺の経緯、關係者の行動、鮮内外の連絡状況、細胞團體の組織、宣傳方法等にわたつて漏れなく報告し、ついで學生の結社事件に關し彼等の結社の経緯、宣傳方法、學生の思想感化に關しても述べた、引續き各道警察部長も某重大事件に關する檢舉報告と思想運動者の取締状況を報告したが慶北河野警察部長は大邱の學生秘密結社の模様を、咸南警察部長は元山爭議と労働運動の進展状況を特に詳細に述べた模様である、かくて會議は異常に緊張して午後四時第

版拓務省と朝鮮について 朝鮮毎朝 關係方面の意見

25
45

【京城】樞密院と政府との間に、風雲を捲き起こした拓殖省問題も、樞密院が名づけ親で拓殖省は拓務省となり、總督府官制三條は改正せず現狀通りに朝鮮總督が首相を経て、奏をなし裁可を受けるとなり、朝鮮を重要視する意味で同省大臣官房に朝鮮部を新設し、同部長には同省の事務次官が兼務を見るところとなつてまづ納まつた、右につき關係方面の意見を聞くと左の如くである

草間財務局長

朝鮮總督府豫算は、大蔵省の所管から離れて拓務省の所管に入る見込である、現在總督府豫算は拓殖局を経由して大蔵大臣は所管の豫算大臣と、國庫大臣として二方面から査定するか、拓務省新設後は同省から直に大蔵省に廻付されるから豫算通過はこれまでより少しく容易になる見込である、もし拓相が余り豫算に容喩すれば却つて現在より悪い結果を招来すると思ふ、要するに同省の新設可否はこれを運用する人の問題に歸結すると思ふ

國民協會會長

金明濬氏

われ／＼は東上して拓とか殖とかいふ省名をつけて朝鮮を植民地扱いすることに極力反對したが、新省名が拓務省と決定し

たと聞き失望してゐる、だが、台灣、カラフト、南洋、關東洲

と異つて朝鮮の權利、利益を尊重するため特に大臣官房に朝鮮部を新設することとなつたことは双手を舉げて賛成する、朝鮮を植民地扱いすることには反對だが、主管大臣が朝鮮のことを閣議で發言することには賛成だ、總督府官制三條に拓相によりの字句を削除するとなつたさうだが、これには余り賛意を表することを得ぬ、われ／＼は内地延長主義により朝鮮が結局は内地各省の所管に移ることを希望してゐるので、朝鮮總督がいつまでも絶大の權限を握つて内地の行政權から離れることは考へものだ、拓務省が新設になれば朝鮮事情に精通した者が同省の要部を占めるとを熱望してゐる

等の打合せをした

同民會の

朝鮮側幹部復歸

八日食道園に於る

兩派側幹部懇談會

7.10 日

この拓務省設置問題に關聯して、同民會を脱退したる、同會幹部朴榮喆氏等は、脱退同民會朝鮮側外同盟なる一團を組織し、同民會、國民協會との六團體と提携して朴氏外二代表者は上京して、朝鮮に對中央政府の施政方法に反對を表明し、朝鮮における内戦に

手に保留したるまゝになりたるを以て、數日前、朴氏等と蒲原氏との間の交渉にて一切を水に流し双方共無條件にて何のゴダハリもなく元々通り復歸することとなつた。よつて昨八日午後六時から食道園にて、同民會幹部および脱退朝鮮側幹部朴榮喆氏をはじめ一同の懇談會を催し、晚餐を共にして和氣あいあいたる中に互ひに隔意なく胸襟を開いて懇談をかされたのであるが、席上海邊定一郎氏は、大要左の如く挨拶をした

次ぎに朴榮喆氏は起つて自分達が、拓務省問題のために突然同民會を連袂脱退したのは聊か穩當を缺く嫌があつたのである。私共は當時、同問題のために餘に昂奮し、熱中して前

後を熟慮する暇もなく、あんな事をして終つたのだ、翻つて考ふるに、寔に同民會々員諸君及び一般に對して甚だ相濟まぬ次第であつた、その後拓務省問題も充分ではないが、曲りなりにも幾らか私共の希望も達することが出来たので、無論私共は直ちに復歸するのが當然であつたが、その間同會幹部の御懇切なる御勸説もあり、旁々、快然として復歸した次第である、同民會の信用及勢力は今同共があつて、今後共に大に目標と共になつて、同民會のために努力し、倍々本能を發揮して、朝鮮及帝國のために盡瘁したいと思ふ。云々

次ぎに小杉常任理事は今夜、かく一堂に諸君と會談することは實に欣快の至りで、同民會の將來のために、誠に幸慶に堪へぬ次第であるが、私はさきに拓務省問題のために一時本會を離れられた諸君は、あの一事を以て大なる僥倖となし、今は如何なることがあつても、再びあんな職を履むやうなことなく、何處までもお互に協心同力して本會の使命を全ふし、鮮内同胞の幸福と、東洋平和のために努力したいと思ふ。云々

その趣旨の挨拶あり、渡邊氏は再びたつて拓務省問題に對し、氏が東京における活動について詳細なる回顧的談話をなし、その他、會員二三の談話あり、互ひに打解けて歡談をまじへ、最後一同攝影のレンズに入り、午後九時散會。

日本人官吏의
加俸을全廢하

라

16

朝鮮에 있는 日本人가운데가 장래의 待遇를待遇를待는것을 의하는 日本에서來한것이다 純한理由下의 加俸支給을받는 官吏이다 等가 官吏인한 一輩의 支拂을來해하는 理由下에 六割, 七割의 加俸을받는것 이 日本人官吏의 朝鮮에在職한 特典이다 仔細히말하면 京城以南在職 日本人官吏는 判任官은 六割, 高等官은 五割을, 京城以北在職 日本人官吏는 判任官七割, 高等官六割의 加俸을받는다 이와가리하여 그總額에 있어서는 多라지말라 全朝鮮 俸給豫算二千萬圓中 그半分인 一千萬圓을占하나 全俸給額의 半分을日本外移來한 少數의 日本人官吏가 이것을받는것이 오 爾餘一千萬圓도 朝鮮人官吏가 少數의 日本人官吏와한대 俸給으로받되 朝鮮人의 日本人의 數分의 一밖에못받는것이다

二

가 官吏의 몸으로서 高級의 地位를占할수업는것이 朝鮮人 官吏의 現狀이 아니라 此外에도 加俸制度를設定하여 經濟上差別을 實際上社會的差別로만들게하는것도 不合理至極한 朝鮮의 現狀을말하는것이다 當局이如何한辯解를다하야 그存在의 理由를說明하나 畢竟은朝鮮人과 日本人과의 根本的差別을 말하는外에 아무効力이 없을것이오 勿論하라고도努力하는것 그것도안느모양이다 다시말하거니와 當局은두는理由로 이가 差別的制度를存置하라고努力하는가 加俸制度를日本在職朝鮮人官吏에도適用되지안는가하고, 그러나이가 詭辯的戲弄은 街童走卒도 및지안을

이 官吏의 待遇를 日本人의 官吏의 待遇와를 比較하면 그새의 消息을 理解하기가 充足치 안을것인가 事實에 있어 日本에在職한 朝鮮人官吏가 果然 幾何의數에 達할것인가

三

이 지음 民政黨內閣의 新財政 緊縮政策과 아울러 朝鮮에도補助事業의 中止, 新規事業의 延期等 著著緊縮政策이 實現되는데 時에 이 根本的으로 不合理한 加俸問題에도 減額問題가 일어나는것이다 勿論 官吏加俸에서 約一割을減하야 百萬圓의 節約을圖한다하는바 이것으로 分는 絶對不足하다하것이다 新規事業을延期하고 補助金을 中止하는이관 無用한 支拂一千萬圓에서 不過一割의 減下를한다하는것은 絶對不足하다 朝鮮에 時急한 教育普及問題, 小商農保護問題, 細民救濟問題, 火田民救濟問題等 擴張又是 新規事業을 必要로한이不少하다하것이다 이것을遷延又是 中止하는것은 絶對不可한事實로空然히 一千萬圓가 當初부터 不合理한制度를 存續한다하는것은 絶對不可하니 이 百萬萬圓이라 하는 至極少數의 削減을圖謀하 말고 外의 그全部를廢止도 勿論이 可하다한다 이것 財政緊縮政策의 一助가 될것 勿論 現在朝鮮人과 日本人과 露骨的差別을削去하는一部分手段도 될것이다

朝鮮に移動せざる

大和民族の精神的荒廢 (四)

京城

9.

草芥學人

官界の諸士に警告す (一)

民地の官吏は、土着原住民の模範であらねばならぬ。樺太、滿洲に於ける吏役は、果して時務と徳に於て、模範たり得つゝあるであらうか。

鮮は、韓之を植民地とせはないが、一千七百萬の住民の模範として立たねならぬ。我大小の官人諸君、果して其の模範たり得、あるであらうか。

留し或は投獄し、其の審理の間に收賄し、其の多寡に依て之を左右し、生民をして冤罪と誅求に泣かしめて居つた。

韓國の荒廢したる最大原因は、實に地方官の暴戾にありしことは言ふを俟たない。然るに併合後總督府の設置せらるゝや、初代總督寺内伯は、此の弊を一舉に改革せんとし、新に官吏任用規定を制定し、試験制度を設けて、其の實力に應じて採用した。

地方郡守は、併合以後に於ても、依然として舊職員を其の儘存置した、加之其の選任に付ても、一般の任用令に依らず、相當の技能を有し、且つ成る可く國語を解する者の中より、採用することに定められた、而して判任官中よりも成績優良の者は、郡守に任用された。

國時代を回顧すれば、其官吏は一に苞苴の厚薄に於て、之を任用した。郡守の如き地方官は、其の買官の弊最も甚だしくなきも數千金多きは數萬を納れて、任地に就くのであつた。

然れども舊韓國政府が採用したる官吏は、一時其の儘雇用することし、他に詮衡の道無かりしを以て、原則として内鮮人の區別なく奏任官は試験、判任官は見習より採用の制を定め、行政事務の見習を爲すこと二年以上にして、初めて本官に任用された。

彼等の子弟は、學を修め業を習ひ、智能を磨發して、文官試験に及第し首性の俾に於て、判任に爲り、更に進んで郡守に爲りし者は珍らじくない。

此に於て、朝鮮社の氣風

一變し、四民平等、階級
破の聲は、總督の諭告を
たずして了解した、もし

朝鮮民族の最大多數は、
政の有難きに狂喜した。

して漸年新政の普及する

従ひ、地方官の人民に對

る態度は、昔日と異なり

懇誠求の弊は、一瀉千里

勢を以て改革された、庶

は此に於て始めて、新政

眞意義を諒解し、之を感

した、是れ實に朝鮮官界

大改革なりしと共に、朝

社會の大革命であつた。

◆
に來つて各道の長官は、

督の代官である、各郡の

守は、長官の代官であら

ばならぬ、地方官の品位

、直ちに總督の威信に關

し、總督の威信に關し、各

郡局長の威信に關するは、

言ふを俟たない。

寺内總督は、中央の施、壇

場より、猛虎の吠ゆるが如

く、官吏の行動に眼を光ら

してゐた、地方官の緊張振

は論ずる迄も無い。

◆

寺内伯は常に地方長官に訓

示して曰く、

「諸君は地方大小官員の

模範である、帝國の仁政

を普及し、總督府の威信

を完ふする爲には、諸君

の品位を高潔にせなければ

ならぬ、絶へず道内の

官員を戒飭し、之に訓示

せよ」

寺内伯の訓示、寺内伯の緊

張振は徹底して居つた、故

し、賄賂請托の惡風が、勃
々として芽を吹き出して來
た。

◆

山梨總督に至り、政黨の起

仆毎に、朝鮮總督や、政務

總監が交迭し、追々大小の

官吏まで安定し能はざるの

状態に一變しつゝ、あるとき

山梨總督を圍繞せし、一二

の不純分子が、賣官、利權

獲得、收賄等の説傳はり、

官界に搖らぐ惡風は、此の

弊を露骨に助長した嫌ひが

ある。

從來世間に收賄沙汰の傳へ

らるゝ所では、地方廳に於

ては、土木と勸業だ、鐵道

に於ては工事の監督乃至工

事終了後の検査官吏だ。」

而石、司法官、警察官には

長谷川總督時代には、漸年

其の緊張味を欠き、大正八

年三月の地震動後、齋藤

總督の文化政治十年間に於

て、總督の寛容に馴れて、

官界の人々は全く緊張味を

失ひ、文弱苟合の風を助長

地方行政官廳の職員には、其の事實が如何に認め得らるゝことを悲まざるを得ない。

仰殿は、官吏の氣分が、左様に墮落し、精神的に荒廢を來すであらうか、それは他に種々の原因はあらうが現代の日本人が、自由主義より自然主義、歡樂主義に轉化しつゝあることが、其の主因ではなからうか。

自然主義、歡樂主義は、今や日本の社會相だ、英米佛の歡樂主義は、東洋の變哲學者老子の自然主義と混合して、日本の浮學者や文士は、率先して此の主義に因はれてゐる。

此等の弊は、それを以て人間の本性を發揮するのだと唱へて居る、蟻の甘きに集まり、水の低きに奔ふが如く、勞よりは逸、苦よりは樂に從はんとするの人は人間の人情乎、共產主義も詮じ詰むれば其處ら邊りから來る、收賄も横領も詮じ詰むれば其處ら邊りから芽を吹き出す。

が現今朝鮮官界の弊風たる收賄とか、官金横領とかいふやつは、別に卑近の一思想を見通がすことは出來ないそれは官吏の「不安定」を成して居る。」

去歲、故下閣政務總監は、財政緊縮の名の下に、行政

整理を斷行した、財政緊縮の爲に行ふ行政整理は、郡面の廢合や、吏務の緩急を視て、局課の併合を行ひ、

而して無吏才の吏員を淘汰く公平無私の人間であればする、と云ふことにならな

ければならぬ。然るに下閣總監は、只漫然と安眠は出來なくて、一種の豫算の一割天引を地方廳の怪しき運動を開始する、に通達したり、人員の一割吏員の妻君までが其の運動減を斷行したりした、吏員に飛び出すことは、決してを淘汰するには、譬へ判任珍らしく無い。

雇員の階級でも、大根を切る様な譯にはゆくまい、比較的骨硬にして、吏才に長當に其の能力吏才を精査しじたるの評有る人が顔首をならぬことは、勿論だ。

此の場合、其の才不才を見ることは、直接其の課長であらねばならぬ、課長が悉

それは、平素課長に盲從する人か、其の課長の私宅にお伺をせざる人で、之を露骨に言へば、査査の禮を欠ぎし失禮の硬骨漢に多かつた、現在では本府には、さういふ課長は無いが、當時には副官連の密會さへ備ふ

されて、料彈しやうかさま
で傳へられた。

地方廳に於ても、行政整理
の裏面談を聞けば、大概本
筋のそれと大同小異であつ
たらしい、爾來官界には、
「然として一變した。」
とつ屬官を中心として、緊
張味を失つた、そして文弱
の風を助長し、賄賂請
は官民間にも行はるゝの
風が、勤々として芽を吹
出して來た。」

殆んそ其の日暮し、其の増
限りの風を助長し、何時ま
で首が保てるか分らない狀
態に於て、獨身者は歡樂に
耽り、非獨身者は生活問題
の將來に杞憂して、一種の
賄賂は上下官吏の間に行
はれ、官民間に行はるゝ様
になつた。」

藤總督去り、湯淺總督去
り、山梨總督來り、池上政
總監來るに及び、政黨の
「介毎に、朝鮮總督や、政
總監が交迭し、局部長よ
地方官まで、安定し能は
る狀態に一變して來て以
て、官吏の心理狀態は、俄

之は行政整理より來る、淘
汰の公平無私を缺きしこと
の將來の不安さ、黨風の朝
鮮に搖らぎ來る弊害であら
ねばならぬ、淘汰の公平は
局課長や地方官の戒飭如何
に依りては、其の弊を防ぐ
ことは、決して困難ではな
い、が黨禍は之を防ぐこと
は至難だ。」

朝鮮に移動せる

大和民族の精神的荒廢 (五)

京城

草莽學人

官界の諸士に警告す (二)

内地の地方長官や、警察部長級は、内閣の交迭毎に交迭して居る、短かきは一永きも三年とは保てない、高等浪人の惨めさは、世上周知の事實だ。

朝鮮に在勤せる官吏は、從來此の點は安心だつた、初代總督寺内伯時代より、齋藤總督時代約十五年間は、朝鮮の統治圈内には、黨人は禁物であつた。

秩序的に整理し、秩序的に發展しつゝある朝鮮に、黨人に交ぜつて代へされることなく、大小の官吏は安定して、朝鮮統治に奮勵して居つた、朝鮮が始政二十年にして、今日の如き整理發展を遂げ得たことは、洵に異數であつて、それは中外の等しく認むる所である。

然るに、山梨總督に至り、一黨風朝鮮に搖らぎ、政黨の政務總監が交迭するの情勢を示したので、朝鮮在勤の官吏が、總督總監の交迭毎に、不安の状態にあるは、

蓋し無理も無い話だ、要は安定せざる所に、贈收賄が縦横巧妙に行はれる。

近頃金○○君と曰ふ人が、永年の郡守勤めより罷めて京城に歸つて居る、其の人は舊韓國時代には、硬直清廉の關へ高き某廳の高官であつた。

其の人の歸來談を聴くに。

今日の官界はお話にならぬ、或意味に於て韓國時代に逆轉しつゝある、それは官吏の操行に於て然りである、其の一例を舉ぐれば、曾て○○に一人有り、其の人洋行を命ぜられしとき、某地より一人の鮮人青年を勸めて洋行に同伴した。

其の青年の父君は、某地の富豪であつたが、某官は本府より支出すり洋行費では足りぬとありて、一萬五千金を其の富豪に借用した、が別に借用證の一本這入て居るではなし、歸つて來ても別に返

した富豪も別に其の金を取返さうとは考へてゐなかつた。

然し大金の借りつ放して何の世話も出來ないことあつては、相濟むまい、そこで其の代償かは知らぬが、京畿道以西の某地に於て、數百町歩の未墾地を認可の手續をして貰つた、是等は巧妙な金儲けではありませんか。

此の他、中樞院參議○○○、參事官○○○、郡守○○○、道廳府廳では土木係の收賄、稅務係の收賄、郡廳の勸業係、稅務係、數へ來れば、百鬼夜行の狀態です。

それは内地人官吏ばかりではあるまい朝鮮人官吏もやつて居るであらう。昔の内地人官吏と今の内人官吏を比ぶれば、一粒も劣つてゐるが、品性が全く零です、何ふしてこんな工合に役人の根性が腐つて往くのでせうか。

赤面筆の話を聞くもの哉、嗚呼昔の内人、今は、朝

其の指導者としての、體面と力量とを保持して居つた今は反て被指導者たりし人達に、侮辱と嘲笑を以て迎へられて居る、何ぞ曰ふ大和魂の姿だ。

金君の話として此に掲ぐる所のものは只だ其の片鱗である、

まだまた色々の收賄士は食はねぎ高楊子てふ氣沙汰を聴かされてゐる、そ品だけは持たねばならぬ、それが悉く事實であらうとは貧を救ひ弱を扶くるの任侠信じないが、若し不幸にしても無からねばならぬ。

て之が事實でありせば、特に朝鮮統治の重任を分擔實に容易ならぬ問題で、我せる官吏は我國民的道徳の統治史上拭ふ可からざる汚辱であらねばならぬ。

大和民族の大和魂と曰ふの無くてはならぬ、朝鮮統治は、決して兵戰に脚かす所の成敗は、我大陸經營の成のもの、みを言ふので無い敗である。」

平時に於ては清廉潔白、武然るに、如今往々にして、

官吏に收賄の傳説は、詐欺、横領、官金費消の數々が、逐年増加し來れるは、決して盛世の氣象でない。惟ふに、我齋藤總督は、賢明にして總政主義の政治家だ、然し從來の如く、總政主義の一天張ではいかん、一年半後の今日では、官界の綱紀が著しく弛緩し、官吏は著しく腐敗して來て居る。

を實行されて、而して官吏の倫理化を圖らるゝこと、一面一校の成案を撤廢されて産業政策より來る、貧民の救済を策劃されること、が統治上今の急務とせられなければならぬ。

濱口首相が、朝鮮總督を黨人に擬せずして、齋藤子を奏請したことは、朝鮮統治は總督の人を爲りに因ること、を深く感じた結果であらう、否西園寺老公や牧野子等が、有力なる意見を吐露せられたることは、我輩深く之を信すべき理由がある朝鮮統治には、黨人の徘徊を許さない、と曰ふ現象を見ることが出来たことは、

此の機會に於て、大小の官吏に肅清の震動は免かれまい、而して後來の所のもものが、光風霽月の天地である官界の諸士は安定して清廉の美風を涵養し、我統治に貢獻し、盛世の一員として奮勵せなければならぬ。

更に我輩は此の機會に總督總監に一言を呈する、元來我地方邊陲の官吏は、我移住植民の先驅者である、天南地北、開地未開地を問はず、家族を提けて在勤し、凡ゆる生活上の不自由を嘗め、多年一日住民と情を同ふし、境を同ふし社交を開大し、同化に裨補して居る此の点に於ては、總督、總

監や、地方の長官は、大に心してやらねばならぬ、從來屬官級は、昇級も鈍い、賞與も少ない、地方邊陲の屬官等は、此の點には大に度外視されてゐる中央、所謂お膝元に居る者、地方に居る者とは、數年にして大に懸隔が生じて來る。

かう曰ふ點に於て、氣骨有る地方の官吏には、不平が蔚然と起つて居る、早く官界の足を洗はう、と曰ふ念が、行住座臥の間にも萌して居る。

竊願總督が官界の綱紀肅清を行ふ一刹那に於て、是等の點に於ても、官吏の精神的荒廢と因縁あることを見通がしてはならぬ。

彼の英國政府が、植民地の官吏に對するや、政治的任命に依りて就職したる官吏の外は、永く其の地に在勤せしめて、容易に交迭をせない、官吏をして其の地に永住せしめて、其の老朽職を去らしむるに當りても、種々の便宜を與へ、永住の策を講じて呉れる、英國が植民地成功の一面の原因はそれである。

然し、我朝鮮に在勤せる大學出の官吏や、文官試験に登第せし官吏に、永住的在勤を望むは無理の証文であることは知てゐる、何となれば、彼等は過去十幾年間苦楚慘憺せる素養と官吏として榮達の資格を以て、いつ迄も朝鮮に釘付にして置く譯にふくまい。

彼等は、官吏として榮達を

用し、朝鮮に來る者の大半は昇進發展の途徑とし、或は一時の方便として來れる者、其の榮達を追ふて、中央内地に轉出することは勿論であらう、此く言へば朝鮮は、官吏の一時手習場所ぢやないかと言ふ人もあらうが、内鮮の民度と政治狀態を見れば、手習場所でも結構だ。」

慣を知て居る、故に彼等は五年十年廿年と、過ぎ去る年月の間に於て、内鮮同化に補ふ程度は、敢て利を漁りて漫然來住したる商工民などは、自ら其の擧を異にして居る。」

或は老朽退職せる官吏であつても、歸國するの已むを得ざるに至らしめず、留まりて永住せしむるの方便を講じ呉れることは、朝鮮統治上策の得たる者であらう。司法官は、還曆まで其の身分を確保されて居る、我法治の發展は其の所以だ、行政官は餘程游泳術に長じてゐない、何ふかするに首が飛ぶ、昇級時に賄賂贈賄が行はれ易きも其の所以だ。要は、官吏をして不安定の境地に置くことが一番宜しくない、總督が、被治者に

時折諭告を發せられることも宜しいが、此の際は、官吏にも嚴然たる諭告を發せられる必要がありはせぬか。」「昇級の一番鈍き警察官や、學校教員や、地方邊陲の屬官など特に心して賣りたい而して退職退官に際しては可及的便宜を圖り、第二の故郷たる朝鮮に安定せしむることに依りて、我朝鮮統治は有終の美を濟すことが出來やう。」

が飛ぶ、昇級時に賄賂贈賄が行はれ易きも其の所以だ。要は、官吏をして不安定の境地に置くことが一番宜しくない、總督が、被治者に

統治方針に

鮮人の叫び

10.

鄭道評議員の建議

評議員鄭世胤氏は今回の松田拓相來韓に際し氏はホテルに於て大臣との會見を求め左の如き意見を述べる處があつた

一、内鮮差別の撤廢

(イ) 中等學校以上の内鮮共學

(ロ) 官吏の待遇を同一にし優秀のものは此れを拔擢すること

二、中樞院の改善

現在の中樞院は養老院で何等の意義がない、此れを改善するか廢止するか、二者其の一を選ぶが好い

三、植民地扱を改むること

四、高等の教育を受けたものをして就職の道を與ふること

現在、朝鮮人にして大學、專門學校を卒業し何等就職の口なく所謂高等遊民として遊んでゐる、思想の惡化は多く此等の徒から發する

朝鮮労働組合と

新相愛會大立廻り

川崎騷擾事件公判日に

(東電) 春の川崎市における大喧嘩以来反目を増し、朝鮮労働組合と相愛會の兩派は四日午後一時より横濱地方裁判所で右川崎騷擾事件被告三十七名の公判が開かれるとまた、此こでも衝突し、定刻前から組合側は裁判所前の控へ室内に二百數十名集合相愛會側を待ち伏せて同所入口や検事局廊下で大立廻りをなしたので飯塚高検事は計画的暴動と見做し各署を總動員して檢事の命を出した結果組合側鮮人總計二百餘名、檢束された公判は午後五時半休憩し七時半無事終つたが検事局での暴行事件は今回が最初であると